平成29年度

事　業　結　果　報　告　書

社会福祉法人松江市社会福祉協議会

Ⅰ　はじめに　　　　　…………………………………………………………… 1

Ⅱ　実施事業

**１．社協運営及び機能強化　 　　 2**

1-(1) 法人運営管理　 　　 2

① 理事会

② 評議員会

　 ③ 監査会

　 ④ 正副会長会

⑤ 役職員研修会

⑥ 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会

⑦ 八市社協会

⑧ 松江市社会福祉法人連絡会

1-(2) 広報　 　10

① 社協だより・刊行物等の発行

　 ② ホームページ

1-(3) 社協会費、募金等　　　 10

　 ① 社協会費

　 ② 日赤社費

　 ③ 共同募金

1-(4) 研修啓発、講座　　 12

　 ① 松江市社会福祉大会

　 ② 健康福祉フェスティバル

③ 第69回松江市民余芸大会

　④ 地域ケア連携推進フォーラム

1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進　　 　14

1-(6) 共同募金配分事業の取り組み　　 　15

**２．地域福祉及び連絡調整の強化 　　16**

2-(1) 地域福祉の推進　　  16

　① コミュニティソーシャルワーク（ＣＳＷ）の展開

② 地区社協・各種団体との連携

③ 地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）

④ 地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議

　 ⑤ 福祉推進員代表者会

⑥ 福祉推進員研修会

　 ⑦ あったかスクラム事業の支援

2-(2) 緊急事案への対応　　　23

　 ① 生活再建おうちクリーニング事業

2-(3) 広域福祉事業の推進 　 23

　 ① 福祉サービス利用援助事業の推進

　 ② 法人成年後見事業

　 ③ 市民後見人等養成事業

　 ④ 権利擁護推進委員会

**３．ボランティア活動及び福祉教育 　　 27**

3-(1) コーディネート強化、見直し 　  27

3-(2) ボランティアの育成、養成 　　 27

　① 育成研修

　 ② 養成研修

　 ③ ボランティアセンター個人登録者ボランティア研修の開催

　 ④ ボランティア登録時研修

3-(3) ボランティアの活動支援 　  30

① ボランティアルームの開放及び備品の貸し出し及び保険加入の促進

　② 松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援

③ 企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携活動支援

3-(4) 福祉教育の推進 　 31

3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化 　 31

3-(6) 松江市まめなかポイント事業　 32

**４．在宅生活支援事業の推進　 　　 32**

4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み 　32

① 地域包括支援センター事業の推進

② 在宅医療・介護連携支援センター事業の推進

③ 生活支援コーディネーター設置事業

④ 認知症地域支援推進事業

4-(2) 支援策研究開発会議  43

4-(3) 社協内相談事業連絡会議  45

4-(4) 各種貸付・相談  45

　 ① 生活福祉資金の貸付

　 ② 民生融金の貸付

4-(5) 福祉サービス 　　46

　 ① 福祉サービスの充実及び企画・実施

　 ② 介護職員初任者研修の実施

**５．公的福祉サービス受託事業の推進　 　　 49**

5-(1) なごやか寄り合い事業　　　49

5-(2) まつえ障がい者サポートステーション絆の運営事業　　 50

5-(3) 生活困窮者自立支援（松江市くらし相談支援センター）　 51

① 自立相談支援事業

　② 一時生活支援事業

　③ 住居確保給付金

④ 家計相談支援事業

　⑤ 就労準備支援事業

　⑥ 入居債務保証制度

　⑦ フードバンク事業

　⑧ 助っ人弁護士制度

**６．介護保険関係事業の推進　 　　 　　　　 54**

6-(1) 松江社協介護センターの経営  54

　 ① 居宅介護支援事業

　 ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

6-(2) 美保関介護センターの経営 　55

　 ① 居宅介護支援事業

　 ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

　 ③ 通所介護事業及び介護予防通所介護事業

6-(3) 松南介護センターの経営  57

　 ① 居宅介護支援事業

　 ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

6-(4) 宍道介護センターの経営 　　58

　 ① 居宅介護支援事業

　 ② 訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業

6-(5) 介護センターの研修等の推進  59

① 介護支援専門員資質向上事業

② 訪問介護員内部研修

③ 居宅介護支援介護支援専門員内部研修

④その他介護職員関係研修への参加

6-(6)介護認定訪問調査事業の受託  60

**７．障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進　 　　62**

7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業　 62

　 ① 松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業

　 ② 美保関障がい者居宅介護事業

　 ③ 松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業

　 ④ 宍道障がい者居宅介護事業

**８．児童福祉サービスの推進　 　 　 66**

8-(1) 児童センター等の受託運営  66

　 ① 八雲児童センター運営事業

　 ② 八雲児童・子育て事業

8-(2) 子ども食堂の取り組み　 66

**９．福祉施設等管理運営事業の受託 67**

9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業  67

9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業  67

9-(3) 東出雲老人福祉センター管理運営事業  67

9-(4) 美保関高齢者生活福祉センター（香梅の里）管理運営事業　 68

9-(5) 西ふれあいプラザ管理運営事業　 68

**10．「我が事・丸ごと」の地域づくり推進 69**

10-(1) 地域力強化推進事業  69

　① 高台団地ローラー作戦

　② 参加型買い物支援と介護予防の取り組み

　③ 巡回相談の実施

　④ なんでもサポーター

　⑤ 共生響生のまちづくりシンポジウム

10-(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業 　 71

　① 松江市社会福祉協議会職員全てが相談を受けとめる体制づくり

　② 受け付けた相談を受けとめ、解決に向けた体制づくり

　③ 関係機関との連携

　④ 周知啓発

　⑤ 新たな地域の社会資源サービスの創出

**11．災害支援　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　73**

11-(1) 九州北部豪雨災害支援派遣　 73

Ⅲ．組織・機構

　　平成30年4月1日付正規職員採用の方針について　　74

　　 職員数一覧表　 75

**資料**

※松江市内の平均的な「なごやか寄り合いモデル」

※香梅の里デイサービスだより

※地域における住民主体の課題解決力強化・包括的な相談支援体制のイメージ

※松江市社会福祉協議会組織機構図

はじめに

少子高齢化、人口減少が進み、家族規模・構成や働き方の変容等により、家族や地域、職場での相互扶助機能が低下してきています。市内でも孤立死、自死、ひきこもりや虐待、悪徳商法、失業、経済困窮など、既存の社会保障・社会福祉制度ではなかなか解決に至らない問題も表面化してきています。また、様々な分野の課題が絡み合って複雑化したり、個人や世帯単位で複数分野の課題を抱え、複合的な支援を必要とする状況がみられるようになり、これまでのような対象者別、機能別といった「縦割り」の公的支援制度では対応が困難なケースが増加しています。

国では、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現を基本コンセプトに位置付け、「地域課題の解決力の強化」「地域丸ごとのつながりの強化」「地域を基盤とする包括的支援の強化」「専門人材の機能強化・最大活用」を柱とする福祉制度全般の改革が一体的に進められています。平成29年5月には、改正社会福祉法が可決・成立し、市町村が「我が事・丸ごと」の包括的支援体制の構築に努めることが規定されました。

松江市では、地域共生社会の実現を目指し、住民の身近な圏域で、住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくりおよび市町村における育児、介護、障がい、貧困、さらには育児と介護に同時に直面する家庭など、世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止め総合的な相談支援体制づくりを推進することを目的とした「我が事・丸ごと」の地域づくり推進モデル事業に社会福祉協議会が補助事業として取り組みました。

住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる体制づくり（「我が事」の地域づくり)では、住民の当事者意識の醸成を目的とした訪問聞き取り調査の実施や共生・響生まちづくりシンポジウムの開催等、地域課題の把握や情報共有、担い手づくりを行いました。また、なごやか寄り合い大見本市の開催やなんでもサポーター養成等地域住民の活動拠点、活動支援を行いました。

地域生活課題を包括的に受け止める体制の構築等（「丸ごと」の地域づくり）では、社協の窓口14カ所すべてに「松江市福祉なんでも相談所」の看板を掲げ、全職員が相談員研修(6回)に参加。高齢者、障がい者、子ども等といった分野を問わない様々な相談を受け付け、総合相談調整室を中心に社協の持つ様々な相談機能や法テラス島根等法人外組織と連携し対応しました。

平成29年度も“誰もが安心して暮らせる社会”を構築するため、地域住民やボランティア、関係機関・団体、行政等と連携、協働し、社協の組織力や専門性を活かしながら、各課、各担当が連携、協力し事業を遂行しました。

**Ⅱ　実施事業**

**１．社協運営及び機能強化**

**1-(1) 法人運営管理**

【総務課】

　社会福祉法人制度改革に沿った役員、評議員体制を構築し、法人の健全経営や、地域福祉の担

い手としてふさわしい事業を確実、かつ効果的に行うために、理事会、評議員会を開催し、社協

法人の意思決定を行いました。

**①****理事会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 第１回  第２回 | ●日時　平成29年5月29日（月）9:30～  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  出席者　総数17名中15名　監事1名  ・事務局規程の一部改正について  ・報酬費用弁償規程の一部改正について  ・松江社協介護センター各事業運営規程の一部改正  ・美保関介護センター各事業運営規程の一部改正  ・松南介護センター各事業運営規程の一部改正  ・要介護認定調査業務事業運営規程の一部改正  ・平成28年度事業結果報告  ・平成28年度会計収支決算  ・第１回評議員会の開催について  以上原案どおり可決  ●日時　平成29年6月13日（火）15:30～  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  出席者　総数20名中17名　監事3名  ・会長及び副会長の選任について  ・専務理事及び常務理事の選任について  ・「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業の受託  　について  以上原案どおり可決 | ・介護センターの人員体制について  ・福祉サービス利用援助事業の相談問合せ件数が急増している要因  ・地域包支援センターの電話回線数の増設要望  ・視覚障がい者向けに広報紙の点訳、音訳化の検討要望  ・「我が事・丸ごと」事業のタイムスケジュールと生活支援コディネート等の既存事業等との整合性について |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 第３回  第４回  第５回 | ●日時　平成29年10月11日（水）10:00～  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  出席者　総数20名中19名　監事3名  ・公印管理規程の一部改正  ・育児休業及び介護休暇規程の一部改正  ・経理規程の一部改正  ・平成29年度会計第1号補正予算  ・新たな支え合いファンド助成事業の業務委託契約の締結について  ・平成29年度第2回評議員会の開催について  ・平成29年度事業進捗状況について  ・九州北部豪雨災害支援派遣職員報告  以上原案どおり可決  ●日時　平成29年12月22日（金）13:30～  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  出席者　総数20中15名　監事1名  ・給与規程の一部改正  ・経理規程の一部改正  ・ゆうあいヘルプサービス訪問型サービスＢ運営規程の制定について  ・自動車保険フリート契約（任意保険）の締結について  ・総合福祉センター入浴施設の廃止について  ・平成29年度上半期収支状況について  ●日時　平成30年3月23日（金）13:00～  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  出席者　総数20中15名　監事1名  ・無期労働契約転換制度導入に伴う関係規定の制定及び一部改正  ・平成29年度会計第2号補正予算  ・平成30年度事業計画 | ・新たな支え合いファンド事業について、助成の期間や金額の考え方について、また立ち上げ後の金額的支援の有無について  ・ボランティアポイント事業の登録状況  について  ・松江市社協の災害ボランティアセンターの準備状況について  ・総合福祉センターの部屋の名称について  ・各学卒区分の初任給と各級の格付けについて  ・給与増額分の財源について  ・訪問型サービスＢについて利用者の範囲と、協力会員の実費弁償の支払い期日について  ・交通事故の件数と保険金の支払い状況について  ・千鳥町にできた新しい温泉施設について  ・福祉なんでも相談の相談件数及び総合相談調整室の機能役割について  ・なごやか寄り合い事業の実施団体数とまめなかポイントの実施団体数について |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 第５回（続き） | ・平成30年度会計予算  ・総合福祉センター清掃業務契約の締結  ・総合福祉センターエレベーター保守点検業務契約の締結  ・東出雲老人福祉センター日直業務契約の締結  ・松江市社会福祉協議会介護センター給食業務契約の締結  ・平成29年度第2回評議員会の開催について  ・平成30年度組織機構  ・平成31年度新規職員採用について  ・松江市財政援助団体等監査報告  以上原案どおり可決 | ・社会福祉法人連絡会の活動状況について  ・あったかスクラム事業の状況について  ・在宅医療/介護連携支援センターの状況について  ・共同募金委員会で実施しているテーマ募金の今年度の状況及び来年度の計画について  ・フードバンク事業の状況について |

**②評議員会**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 第１回  第２回  第３回 | ●日時　平成29年6月13日（火）10:00～  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  出席者　総数24名中22名  ・報酬費用弁償規程の一部改正  ・平成28年度事業結果報告  ・平成28年度会計収支決算  ・役員の選任  以上原案どおり可決  ●日時　平成29年10月16日（月）10:00～  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  出席者　総数24名中21名　監事1名  ・平成29年度会計第1号補正予算  ・「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業の受託  　について  ●日時　平成30年3月26日（月）10:00～  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  出席者　総数24名中16名  ・平成29年度会計第2号補正予算  ・平成30年度事業計画  ・平成30年度会計予算  ・役員の選任  ・平成30年度組織機構  以上原案どおり可決 | ・「我が事・丸ごと」事業の具体的な収入と支出の対比について  ・福祉なんでも相談の広報や周知体系について  ・担い手の養成については若年層を巻き込んだ視点をもった事業展開の要望  ・子ども食堂事業の状況について  ・社会福祉法人連絡会の活動状況について  ・買い物支援に対する社協の考え方について  ・地域共生社会の実現に向けた住民との学習の場の計画について  ・第2層協議体における老施協や施設の関わりについて |

**③監査会**

理事の業務執行の状況および法人の財産の状況について、監事による監査を実施しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内容 | 質疑・意見等 |
| 監査会 | ●日時　平成29年5月19日（金）9:00～  ・平成28年度 事業報告、会計収支決算監査 | 事業報告書、財務諸表正確  であり不整の点なし |

**④正副会長会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 第１回  第２回  第３回  第４回  第５回 | ●日時　平成29年5月24日（水）11：00～  場所　松江市総合福祉センター　会議室  出席者　会長1名、副会長2名  ・第１回理事会議案等について  ●日時　平成29年6月9日（金）14：30～  場所　松江市総合福祉センター　会議室  出席者　会長1名、副会長2名  ・第２回理事会・第１回評議員会議案等について  ・「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業の松江市からの受託について  ●日時　平成29年9月28日（木）11：00～  場所　松江市総合福祉センター　会議室  出席者　会長1名、副会長2名  ・第３回理事会・第２回評議員会議案等について  ・平成30年度新規職員採用について    ●日時　平成29年12月14日（木）11：00～  場所　松江市総合福祉センター　会議室  出席者　会長1名、副会長3名  ・第４回理事会議案等について  ●日時　平成30年3月15日（木）10：30～  場所　松江市総合福祉センター　会議室  出席者　会長1名、副会長2名  ・第５回理事会・第３回評議員会議案等について |

**⑤役職員研修会**

社協組織の力を高めていくために役職員に対する研修を企画実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 役職員研修会  星野副市長との懇談会  職員研修会  交通安全研修  職員研修会  福祉学習会  職員研修  福祉学習会  職員研修  福祉学習会 | ●日時　平成29年10月24日（火）  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  内容　「社協が展開する事業の実践報告及び意見交換」  アドバイザー　松江市副市長　星野芳伸　氏  　参加人数　会長、副会長2人、専務理事、常務理事、職員25人  ●日時　平成29年6月28日（水）30日（金）  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  演題　「認知機能検査について・高齢者の交通事故の現状」  講師　松江警察署交通第一課長　川上教彰　氏　他  参加人数　86人  ●日時　平成29年8月30日（水）  場所　松江市総合福祉センター1階　会議室  演題　「地域に根差したソーシャルワーカーの役割と課題」  講師　同志社大学大学院教授　上野谷加代子　氏  参加人数　20人  ●日時　平成29年10月23日（月）  場所　松江市総合福祉センター4階　大ホール  演題　「効果的な地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会の実現について」〜松江市民がいきいきと暮らせる地域づくり～  講師　医療経済研究機構　研究部研究員兼研究総務部次長  さわやか福祉財団　研究アドバイザー　服部真治　氏  参加人数　64人  ●日時　平成30年2月15日（木）  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  演題　「今、社会福祉協議会に求められる役割」  ～地域共生社会の実現に向けて～  講師　美作大学生活科学部社会福祉学科長　小坂田　稔　氏  参加人数　53人 |

**⑥中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会）  第55期（平成29年度）総会及び研修会 | ●日時　平成29年9月12日（火）～9月13日(水)  場所　ザ・グランドパレス徳島（徳島市）  松江市社協参加者　専務理事他 ４人  第1日目  総会 ・第54期事業報告及び収支決算  　　　・第55期事業計画及び収支予算について  講演  『「我が事・丸ごと」の地域づくりと  これからの社協事業・活動について』  　全国福祉協議会地域福祉部　副部長　　　　　平井　庸元　氏  第2日目  シンポジウム  テーマ「多機関との協働による包括的相談支援体制  に向けた取り組みについて」  コメンテーター　　　　　　　　　　　　　　　　 平井　庸元　氏  コーディネーター  徳島文理大学保健福祉学部人間福祉学科学科長　　　岩城　由幸　氏  実践報告者  高知市社会福祉協議会参事　 　　　　　　　　　　中島　由美　氏  徳島市社会福祉協議会あんしんｻﾎﾟｰﾄｾﾝﾀｰ長　　　　 木村　泰之　氏  呉市社会福祉協議会地域福祉課長　　　　　　　　　田中　秀樹　氏 |

**⑦八市社協会**

八市社協会は、島根県内八市社会福祉協議会（松江市・浜田市・出雲市・益田市・大田市・

安来市・江津市・雲南市）がかかえる問題の解決と、社会福祉活動の充実のために、八市社協会を組織し、相互の連絡・調整及び研鑽を深め、八市社協の発展と振興に資することを目的として平成6年に結成されました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 第１回事務局長会 | ●日時　平成30年1月16日（火）場所　出雲市社会福祉協議会  議題 ・平成29年度研修会について  ・平成28年度決算(案)平成29年度予算・事業計画(案)  ・八市社協の職員採用状況について  ・中四国都市社協連絡協議会、生活福祉資金あり方検討委員会 |
| 事業名等 | 内容 |
| 平成29年度八市社協会研修会 | ●日時　平成30年2月24日（土）  場所　出雲市社会福祉センター（出雲市）  松江市社協参加者　常務理事他8人  特別講演  「社協の歴史、生い立ち、今から未来へ」  八市社協会会長（出雲市社会福祉協議会常務理事）　川瀬　　英　氏  実践発表  　松江市社会福祉協議会　地域福祉課主事　中島大棋　氏  　出雲市社会福祉協議会　地域福祉課主任　大錦清文　氏  防災知識～炊き出し訓練～ |

**⑧松江市社会福祉法人連絡会**

改正社会福祉法により社会福祉法人は「地域における公益的な取組み」が責務と位置付けら

れ、松江市における全ての社会福祉法人が緊密に連携し、社会貢献活動に取り組める仕組みが必要であるとの考えから、平成29年1月15日に47法人の参画のもと松江市社会福祉法人連絡会を設立しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 平成29年度総会 | ●日時　平成29年7月24日（月）  場所　松江市総合福祉センター4階　教養室  議題 ・平成28年度事業報告及び決算報告  ・役員体制（案)について  ・平成29年度事業計画及び予算  ・避難所の確保に関する取組みについて  実践発表  　「子ども食堂の運営をとおして」  松江市社会福祉協議会地域福祉課長　豊島　　俊　氏  　「おちらとカフェの現状と課題」  　　　　　　　　社会福祉法人草雲会地域支援室所長　齋藤　文章　氏  「福祉コンシェルジェについて」  社会福祉法人みずうみ公益事業部福祉ｺﾝｼｪﾙｼﾞｪ　堀田　　聡　氏 |

**1-(2)** **広報**

【総務課】

**①社協だより・刊行物等の発行**

「まつえ社協だより」を年６回公民館・自治会町内会を通じて各世帯に配布し、福祉情報の

提供を行うとともに、社協活動への理解と協力を求めました。また今年度から、視覚障がい者の方へもよりわかりやすい情報提供ができるよう音訳及び点訳版を発行しました。

年6回発行（5月･7月･9月･11月･1月･3月）A4版 白黒 6ページ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 巻数 | 発行日 | 発行部数 | 表紙の内容 |
| 第109号 | 平成29年5月1日 | 1号につき77,900部  （音訳）  137部  （点訳）  63部 | くらし安心サポーターセミナー |
| 第110号 | 平成29年7月1日 | ふくしなんでも相談所の開設 |
| 第111号 | 平成29年9月1日 | ｺﾐｭﾆﾃｨｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰについて |
| 第112号 | 平成29年11月1日 | 福祉推進員について |
| 第113号 | 平成30年 1月1日 | 松江市社協から新年のごあいさつ |
| 第114号 | 平成30年 3月1日 | ふくしなんでも相談所について |

②ホームページ　http://www.shakyou-matsue.jp/

ホームページによって、社協の組織、事業、イベント、地区社協の活動など様々な情報を全

国発信しました。また今年度はよりわかりやすく情報提供ができるようホームページをリニューアルしました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目 | H29年度(件) | | H28年度(件) | |
| 年間アクセス | 1日平均 | 年間アクセス | 1日平均 |
| ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞｱｸｾｽ数 | 18,648 | **51** | 13,588 | 37 |

**1-(3) 社協会費、募金等**

**①社協会費**

【総務課】

5月から市内町内会自治会等にご協力をいただきながら社協会員を募集し会費を納入してい

ただきました。

◆平成29年度 社協会費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 件　数 | 金　額 | H28年度実績 |
| 一般会費 | 806自治会 | 27,986,754 | 28,539,651 |
| 特別会費 | 99件 | 210,000 | 175,000 |
| 団体会費 | 62件 | 248,000  ,000 | 231,000 |
| 法人会費 | 124件 | 695,000 | 688,000 |
| 計 |  | **29,139,754** | **29,633,651** |

　　　\*一般会費とは　1世帯当たり800円

　　　\*特別会費とは　個人で一口2,000円以上

　　　\*団体会費とは　福祉施設対象で一口3,000円以上

　　　\*法人会費とは　企業対象で一口5,000円以上

**②日赤会費**

【総務課】

5月の赤十字運動月間を中心に、市内町内会自治会の方々のご協力により、会員へのご加入と

会費のお願いをしました。日本赤十字社島根県支部松江市地区長　松浦正敬(市長)

◆平成29年度 日赤会費　　　　　　　　　　　　 （単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 件　数 | 金　額 | H28年度実績 |
| 普通会費 | 826自治会 | 22,833,167 | 23,435,976 |
| 特別会費 | 43件 | 133,000 | 84,000 |
| 法人会費 | 113件 | 770,000 | 770,000 |
| 計 |  | **23,736,167** | 24,289,976 |

　　　\*普通会費とは　1世帯当たり700円以上

　　　\*特別会費とは　個人1回2,000円以上で積立20,000円以上

　　　\*法人会費とは　企業対象

**③共同募金**

【総務課・地域福祉課】

共同募金は、「赤い羽根募金」として広く知られています。共同募金は、10月1日から12月

31日まで、全国一斉に行われました。

市民の皆さんのご理解とご協力をいただき、松江市社協（地区社協）や民間団体の活動など

で福祉のまちづくりを展開支援するために行う募金（寄付金）です。

◆平成29年度共同募金　　　　　　　　　　　　　　 　（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 件　数 | 金　額 | H28年度実績 |
| 戸別募金 | 801自治会 | 23,779,556 | 24,844,711 |
| 街頭募金 | 41件 | 207,246 | 329,517 |
| 法人募金 | 372件 | 1,841,000 | 2,193,198 |
| 学校募金 | 46件 | 793,595 | 721,758 |
| 職域募金 | 113件 | 705,370 | 678,953 |
| イベント募金 | 2件 | 1,052,208 | 1,188,115 |
| 個人募金 | 37件 | 334,167 | 84,171 |
| ピンバッヂ | 157件 | 1,338,942 | 1,353,035 |
| その他の募金 | 75件 | 1,063,393 | 552,978 |
| 計 |  | **31,115,477** | 31,946,436 |

　　　\*戸別募金とは　1世帯当たり800円(目標額)

　　　\*街頭募金とは　10月1日を中心に街頭活動による募金

　　　\*法人募金とは　企業を対象

　　　\*学校募金とは　小中学校を対象「ドラえもん募金箱」

　　　\*職域募金とは　職場単位　図書カード(500円)やQUOカード(500円)

　　　\*イベント募金とは　市民余芸大会　1枚1,800円(当日券2,000円)

　　　\*個人募金とは　個人を対象

\*ピンバッヂとは　バッヂ500円以上

◆社協会費、日赤会費、共同募金の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | H29年度 | H28年度 | H27年度 | H26年度 | H25年度 |
| 社協会費 | 29,139,754 | 29,633,651 | 29,892,961 | 30,642,837 | 31,644,314 |
| 日赤会費 | 23,736,167 | 24,289,976 | 24,849,460 | 25,920,270 | 26,933,800 |
| 共同募金 | 31,115,477 | 31,946,436 | 32,852,652 | 32,647,067 | 31,477,163 |
| 計 | 83,991,398 | 85,870,063 | 87,595,073 | 89,210,174 | 90,055,277 |

**1-(4) 研修啓発・講座**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【総務課】

**①松江市社会福祉大会**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 松江市  社会福祉大会 | ●日時　平成29年10月30日（月）13：30～  会場　松江市総合文化センター　プラバホール  内容・表彰式典（会長表彰及び感謝状贈呈）  ○民生委員功労者表彰　4名  ○福祉推進委員功労者表彰　49名  　　　　○社会福祉施設及び団体役員功労者表彰　12名  　　　　○社会福祉施設及び団体職員功労者表彰　27名  　　　　○優良社会福祉施設及び団体表彰　2団体  　　　　○松江市社会福祉協議会長感謝　15名  ・記念講演　地域共生社会の実現に向けて  　　　　　講 師　日本福祉大学  　　　　　　　　　学長補佐　原　田　正　樹　氏  　参加者　400人 |

**②健康福祉フェスティバル**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　【地域福祉課】

子どもから高齢者・障がい者も含めた市民全体が、健康で生きがいを持って社会参加できる

よう、また、あらゆる世代との交流が円滑にできるように、地域等の各種団体の参加と協力を得て、健康福祉フェスティバルを開催し、高齢者・障がい者等に対するノーマライゼーションの意識づくりと、保健福祉事業の啓発を図りました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 2017  松江市健康福祉  フェスティバル | ●日時　平成29年5月21日（日）9:30～15:00  会場　松江市総合体育館  内容　オープニング：「川津jr．ブラスバンド」による演奏  特別参加　松江女子高等学校吹奏楽部による演奏  各種コーナー ・健康チェック　・各種体力測定コーナー  ・健康体操体験コーナー  ・障がい者施設、団体の出店・活動掲示  ・ゆるキャラとの一緒に写真をとろう！等　計29コーナー  参加団体　45団体　　延入場者数　約5,373人 |

**③第69回松江市民余芸大会**

公募による出演者と多くの市民の皆様にご協力いただき、手作りの余芸大会として松江市・

山陰中央新報社との3団体共催により開催しました。

この事業の収益金は島根県共同募金会へ全額寄付しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 第69回松江市民  余芸大会 | ●日時　平成29年12月16日（土）13:00～17:00  会場　島根県民会館　大ホール  出演団体　15団体  来場者数　約1,300人　チケット代1枚1,800円(当日券2,000円)  収益金　1,052,208円（松江市共同募金委員会へ寄託） |

**④地域ケア連携推進フォーラム**

あったか地域づくり協議会に参画しJA、松江保健生活協同組合、生活協同組合しまね、くに

びき農業協同組合、地区社協会長会と共同開催をしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 地域ケア連携推進フォーラム  地域ケア連携推進フォーラム（続き） | 日時　平成30年3月10日（土）13:15～16:30  会場　ＪＡくにびき営農総合センター  内容  　　○シンポジウム：「私たちの取り組みをどう進化させるか」  　　　コーディネーター：広瀬学園理事長　　余村　望　氏  ①古志原地区における包括的なケアの体制づくり  シンポジスト：古志原公民館長　竹谷　強　氏  　　　②子供の貧困の実態を知り、地域の人、団体等のつながりで、支援の取り組みへの一歩を踏み出そう  　　　　　シンポジスト：なないろ食堂事務局長　　吉川　郁子　氏  ③生きづらさを抱える人々を支える地域づくりと「包括的なケア体  制」  　　　シンポジスト：すまいりーねっと代表　　後藤　幸江　氏  　　○特別講演  　　　　演題：「子どもの貧困と地域づくり」  　　　講師：湯浅　誠　氏（法政大学教授、社会活動家）  ※参加人数245人 |

**1-(5) 篤志寄付金配分事業の推進**

【総務課】

篤志寄付金は、市民の皆様からの善意の預託（寄付）金品をお預かりし、預託された方の意

志に基づき地区社協やボランティアグループ・福祉団体、松江市社会福祉協議会の事業に配分し、社会福祉事業の推進に役立てられました。

（収入）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：円

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | H29年度 | | H28年度 | |
| 寄付金収入 | 1,014件 | 29,414,500円 | 1,040件 | 32,333,103円 |

（支出）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | H29年度 | | H28年度 | |
| 福祉団体助成金 | 37件 | 6,207,000円 | 32件 | 5,722,000円 |
| 地区配分金 | 29件 | 15,720,218円 | 29件 | 17,025,651円 |
| 地域援助費 | 76件 | 7,133,079円 | 64件 | 6,403,218円 |
| 指定寄付金 | 7件 | 285,000円 | 24件 | 542,000円 |
| 助成金支出 | 3件 | 60,000円 | 4件 | 100,000円 |
| 社協事業費支出 | 1件 | 3,091,909円 | 1件 | 3,271,000円 |
| 事務費支出 |  | 1,287,774円 |  | 1,288,414円 |
| 計 |  | 33,784,980円 |  | 34,352,283円 |

（収支）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 資金収支差額 | **△4,370,480円** | **△2,019,180円円** |
| 次期繰越金 | **16,677,884円** | **21,048,364円** |

**1-(6) 共同募金配分事業の取り組み（松江市共同募金委員会）**

【地域福祉課】

NPO法人、ボランティア団体等の活動支援（地域福祉活動推進事業）を目的に配分金につい

て公募し、審査を行いました。【平成29年度募金（平成30年度事業）】

地域福祉活動推進事業　（公募配分）　　　　　　　　　　　　　　決定総額　2,907,450円

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 申請団体名 | 事業名 |
| 1 | 少年を守る持田地区の会 | 青少年地域行事参加推進事業 |
| 2 | ＮＰＯ法人プロジェクトゆうあい | 障がい児のための音楽ワークショップ「たのしい楽団」の開催・運営 |
| 3 | 社会福祉法人島根ライトハウス　ライトハウスライブラリー | 第17回ら・ら・ふぇすた |
| 4 | 松江市ボランティア連絡協議会 | ボランティア活動啓発事業 |
| 5 | フードドライブ実行委員会 | フードドライブ事業～どんな若者にも社会貢献と地域交流の場を～ |
| 6 | 生馬青少年を育てる会 | オールナイトサバイバル |
| 7 | すまいりーねっと | いじめや不登校、引きこもりの子どもや若者の居場所～中間的就労支援事業～ |
| 8 | 松江市視覚障害者協会 | 見ざる！クライミング・チャレンジ！ |
| 9 | 八雲ゆう人会 | 八雲ゆう游こいのぼり |
| 10 | ＮＰＯ法人おやこ劇場松江センター | 第32回地域子どもﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ「ともだちげきじょう」 |
| 11 | 本郷地区福祉会 | 福祉と健康の里「拝志郷」での実践活動 |
| 12 | 布志名福祉会 | 布志名地区　地域福祉活動 |
| 13 | 城西ニコニコ交流館運営協議会 | “音楽で街づくり”城西音楽で街づくりコンサート事業 |
| 14 | だんだんパソコン倶楽部 | 子どもの学習ひろば作り |
| 15 | 松江おもちゃの病院 | 木工おもちゃの修理体験＆おもちゃのマイコン動作勉強 |
| 16 | 健康麻雀乃木サロン | 健康麻雀で認知症予防とひきこもり防止活動 |
| 17 | 健康忌部２１推進隊 | 健康フェスティバル　in　いんべ　２０１８ |
| 18 | いけずご王国 | 子どもたちの直観力を伸ばす共育創造事業 |
| 19 | しまね四季の学び舎 | 川津地区キッズ・ダイバーシティ・キャンプ |
| 20 | 動物保護団体PONT | 動物保護を通じた「飼い主（人）」への支援事業 |

**２．地域福祉及び連絡調整の強化**

**2-(1) 地域福祉の推進**

【地域福祉課】

**①コミュニティソーシャルワーク（ＣＳＷ）の展開**

個別支援への関わりから地域課題を発見し、その地域課題の解決を目指した地域展開をすすめるため、全ての職員がＣＳＷの意識を持ち、連携して事業に取り組みました。

地域福祉係ではふくしなんでも相談をはじめ、日常の地域活動を通じたアウトリーチなどからつながったケースや、地域包括支援センターなど専門機関からつながったケースに関わりました。特に専門窓口の制度やサービスにつながるまでの支援や、地域の民生児童委員等との連携が必要なケースにおいては、実態把握のための訪問や連絡調整などの役割を果たしました。

◆ＣＳＷにおけるブロック別の個別支援ケース数

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 松東 | 中央 | 松北 | 松南１ | 松南２ | 湖南 | 不明 |
| 27人 | 30人 | 14人 | 32人 | 19人 | 14人 | 6人 |

◆ＣＳＷにおける個別ケースへの支援状況）

|  |  |
| --- | --- |
| 支援内容 | 回数 |
| 当事者に直接行った支援 | 273回 |
| 関係機関や関係者に対して行った働きかけ | 293回 |
| 地域課題の解決のために行った地域への働きかけ | 1,560回 |

**②地区社協・各種団体との連携**

福祉推進員や民生児童委員との連携を図り研修会や勉強会を開催しました。

ア）地区研修会（地区社協と協力して実施）

○福祉推進員の委嘱状交付式にあわせ福祉推進員の目的や役割を説明し福祉推進員活動が各地区の実情に合わせ展開できるように研修会を開催しました。

また、民生児童委員と福祉推進員の合同研修会に参加し、普段からの見守りの視点を共有できる見守りチェックリスト等を活用した研修会を行いました。

イ）地区活動の支援

○各地区で地区地域福祉活動計画に基づき実施された事業について一緒に考え実践しました。特に、各地区で開催されているなごやか寄り合い事業については、各地区で世話人やボランティアとの交流会を開催するなどお互いの情報共有を図りました。

ウ）民生児童委員協議会への参加

○毎月開催された民生児童委員協議会常務会、地区民生児童委員協議会定例会に職員が出席し、情報交換や連携の促進に取り組みました。

**③地区社会福祉協議会活動支援事業（すこやかライフ推進事業）**

住み慣れた地域において住民が主体となって、乳幼児から高齢者、障がい者など日常的に援助を必要とする人々への保健・福祉活動を推進するとともに福祉コミュニティの形成を図ることを目的として、地区社協活動を支援し、地域福祉の推進に寄与しました。

　また、各地区の活動の参考にしていただくために、昨年度の各地区の活動内容をまとめた報告事例集を作成し、7月に開催した「地区社協役員・公民館職員・社協職員情報交換会」にて配布しました。

ア）必須事業

地域における要援護者に対する見守りネットワークを形成するとともに、必要な支援活動を行う地区に対し助成を行い、活動の助言・協力を行いました。

イ）重点・選択事業

地域住民の保健、福祉を増進するための活動として、さまざまなメニューの中から地域の実情にあわせ選択された活動に対し助成を行い活動の助言や支援を行いました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 | 地区数 | 金　額 |
| 必須事業 | 1地区社協100,000円 | 29地区 | 2,900,000円 |
| 重点・選択事業 | 1地区社協300,000円 | 29地区 | 8,700,000円 |
| 合計 | | | 11,600,000円 |

◆重点・選択事業の内容一覧

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地区名 | | 重点事業 | 選択事業 |
| 松東エリア | 川津 | ・健康づくり活動の推進  ・認知症高齢者対策 | ・福祉の集い  ・障がい児（者）の社会参加をすすめる活動  ・広報活動 |
| 朝酌 | ・健康まつえ21推進隊活動  ・介護予防の健康づくり活動 | ・ふれあい会食、ミニデイサービス  ・子育て支援事業・ボランティア養成講座 |
| 本庄 | ・なごやか寄り合いを拠点とした健康づくり事業  ・健康まつえ21推進事業 | ・ふれあい会食サービス |
| 持田 | ・健康づくり  ・なごやか寄り合い支援事業 | ・配食サービス  ・やすらぎ喫茶事業 |
| 島根 | ・健康まつえ21推進事業 | ・地区社協啓発事業（ふれあい祭） |
| 美保関 | ・健康づくり活動の推進  ・介護予防・閉じこもり予防の推進 | ・ボランティア養成講座の開催  ・子育て支援活動  ・障がい児（者）の社会参加をすすめる活動 |
| 八束 | ・地域交流サロン「どげな会」 | ・子育て支援事業  ・一人暮らし高齢者等ふれあい事業 |
| 地区名 | | 重点事業 | 選択事業 |
| 中央エリア | 城北 | ・健康づくり活動の推進 | ・ふれあい会食　・ミニデイサービス  ・障がい児(者)社会参加を進める活動  ・第４次地区福祉活動計画の推進に係る研修会の実施 |
| 城西 | ・健康づくり活動の推進  ・介護予防・閉じこもり予防の推進 | ・なごやか寄り合い事業  ・子育てサロンの開催 |
| 城東 | ・健康づくり活動の推進  ・介護予防・閉じこもり予防の推進 | ・防災に関する事業  ・子育て支援  ・地域福祉計画推進事業 |
| 白潟 | ・地域と子どもとの交流事業  ・健康づくりの推進事業  ・介護予防教室の開催  ・認知症高齢者対策の推進事業 | ・なごやか寄り合い事業  ・友愛訪問  ・広報啓発活動事業  ・子育て支援事業  ・障がい児(者)の社会参加を進める活動 |
| 朝日 | ・地域で支えあい閉じこもり予防、介護予防の促進  ・健康づくりの推進 | ・地域ふれあい活事業  ・障がい児(者)の社会参加を進める事業  ・地区社協関係者合同研修会  ・情報誌の発行 |
| 雑賀 | ・健康づくり事業  ・地域の支え合いづくり事業  ・ほっとさいか(雑賀認知症見守りの会) | ・ほのぼのサロンときわ  (ミニデイサービス) |
| 松北エリア | 古江 | ・健康づくり活動の推進 | ・古江給食サービス |
| 秋鹿 | ・なごやか寄り合い | ・高齢者すこやかふれあい大会 |
| 大野 | ・介護予防・閉じこもり予防の推進  ・健康づくり活動の推進 | ・ミニデイサービス(なごやか寄り合い事業)  ・高齢者との交流事業(愛のプレゼント訪問)  ・乳幼児教学級(きらきら学級)  ・配食サービス　・社協だよりの発行 |
| 法吉 | ・健康づくり・認知症対策 | ・自治会福祉対策に対する支援事業 |
| 生馬 | ・元気で長生き道場 | ・情報誌の発行　・高齢者の方の視察研修  ・子育て支援  ・配食サービス  ・高齢者世帯及び身障者の福祉調査  ・町内ミニデイサービス  ・年末見舞い |
| 地区名 | | 重点事業 | 選択事業 |
|  | 鹿島 | ・鹿島地区健康づくり事業  ・男性介護者交流会  ・なごやか世話人活動支援事業 | ・広報誌の発行  ・子育て支援事業 |
| 松南１エリア | 津田 | ・心とからだの健康づくりの推進 | ・ボランティア喫茶　・友愛訪問  ・つだ福祉だよりの発行 |
| 大庭 | ・高齢者ふれあい運動会  ・高齢者福祉講座、研修会、健康講座 | ・ふれあい会  ・あそび広場  ・「おおば福祉だより」の発行  ・巡回お悩み相談室の開催 |
| 古志原 | ・安全安心見守り事業  ・介護予防・健康推進事業 | ・福祉ネットワーク事業  ・広報事業 |
| 松南２エリア | 竹矢 | ・健康づくり講座  ・介護・生活習慣病予防講座 | ・子育て支援 |
| 八雲 | ・健康づくり活動の推進 | ・給食サービス |
| 東出雲 | ・健康まつえ21推進事業  ・乳幼児期健康づくり活動の推進  ・なごやか寄り合い研修会事業 | ・高齢者安否確認事業 |
| 湖南エリア | 乃木 | ・乃木さんあい健康教室  ・男の料理教室 | ・ふれあい弁当サービス  ・地域福祉事業 |
| 忌部 | ・保健協力員・福祉推進員・健康忌部２１推進隊研修会  ・大人の広場（高齢者の交流の場づくり）  ・情報交換会の開催 | ・すこやか交流会(ミニデイ)  ・年越しそば配食サービス |
| 玉湯 | ・介護予防活動の推進  ・健康づくり活動の推進 | ・配食・会食サービス |
| 宍道 | ・にこにこサロン（脳活性化・転倒予防教室） | ・ふれあい会食サービス  ・シルバーレクリエーション  (一人暮らし高齢者外出レクリエーション) |

**④地区社協会長会、幹事会及び事務局連絡会議**

○地区社会福祉協議会相互の連絡・調整を図り、地区社協活動の発展と地域福祉の推進に努めることを目的として地区社協会長会（3回）・幹事会（2回）の開催に協力しました。

○平成30年2月2日（金）に開催された3団体合同研修会に地区社協事務局として協力し公民館館長会、自治会連合会との連携を図りました。（地区社協会長会24名参加）

○各地区社協会長のスキルアップと相互の交流を図るため平成29年11月21日（火）～22日（水）に滋賀県大津市社会福祉協議会での視察研修を行いました。

**⑤福祉推進員代表者会**

福祉推進員が行う地域福祉活動を円滑に行うため、また福祉推進員の活動に必要な研修会の開催を検討するために幹事会並びに代表者会を開催しました。

また、福祉推進員活動の啓発の取り組みのひとつとして、松江市社協だより（第112号）表紙にて、福祉推進員の役割と活動について記事を掲載しました。

◆代表者会・研修会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 代表者会  第1回  代表者会  第2回 | ・日時　平成29年6月30日（金）10:00～11:30  ・会場　松江市総合福祉センター（教養室）  ・内容　①役員について  ②松江市共同募金委員会運営委員の推薦について  　　　 ③平成29年度事業計画（案）について  　　　 ④まめなかポイント事業について  【意見交換会】  ・今年度のブロック研修会の地区分けについて  ・ブロック研修会のテーマについて  ・参加人数　21名  ・日時　平成30年3月19日(月)　 13:30~15:00  ・会場　松江市総合福祉センター（教養室）  ・内容　①平成29年度事業報告  　　　　②平成30年度役員改選について  　　　　③松江市共同募金委員会運営委員の推薦について  　　　　④参加型買い物支援と体操の体験会及び情報提供  ・参加人数　27名 |

**⑥福祉推進員研修会**

ア）福祉推進員初任者研修会の開催

新任の福祉推進員及び参加を希望される再任の福祉推進員を対象に、福祉推進員の役割、関係機関（市社協、地区社協、包括支援センター等）の役割や連携についての説明を行いました。

また、市内の2地区の福祉推進員の方から日頃の活動事例の発表をしていただき、福祉推進員の役割について理解を深めていただきました。

◆福祉推進員初任者研修会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| 福祉推進員初任者研修会 | ・日時　平成29年7月3日(月)　13:30～15:00  ・会場　松江市総合福祉センター（大ホール）  ・内容　市社協・地区社協・福祉推進員について  　　【活動報告】  ・生馬地区　野津本　和子　氏  ・川津地区　堀江　祥子　氏  ・参加人数　104名 |

イ）福祉推進員ブロック研修会の開催

福祉推進員活動に携わっていく中で、基本的なスキルのひとつである「他者との良好なコミュニケーションのとり方」について専門の講師による講義を通して知識を深めていただくことを目的に開催しました。

併せて、事例を通して地域の中で困り感を抱えた方に対してどのようなかかわりをしていくか、また、相談先としてどのような機関があるのかを学ぶため、グループワークを開催しました。

◆福祉推進員ブロック研修会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| ブロック研修会 | 日時・参加地区・参加人数　 ※会場はすべて松江市総合福祉センター  ・Aブロック　平成29年9月14日（木）13:30～15:30  　　　　　　　城北、城西、城東、朝日、川津、法吉、古志原、津田、乃木  　　　　　　　46名  ・Bブロック　平成29年9月15日（金）13:30～15:30  　　　　　　　生馬、古江、八雲、忌部、玉湯、宍道  　　　　　　　24名  ・Cブロック　平成29年9月21日（木）13:30～15:30  　　　　　　　大野、秋鹿、朝酌、本庄、島根、美保関、八束  　　　　　　　26名  ・Dブロック　平成29年9月27日（水）13:30～15:30  　　　　　　　雑賀、白潟、鹿島、持田、大庭、竹矢、東出雲  　　　　　　　24名  【内容】  ・講義「上手なコミュニケーションのとり方」  講師：山陰心理研修所　所長　大西　俊江　氏  ・グループワーク  ・各相談機関紹介（地域包括支援センター、くらし相談支援センター、絆） |

**⑦あったかスクラム事業の支援**

特別な支援が必要な子どもたちの余暇活動・親の会の活動支援、また、地域交流や支援体制

の仕組みづくりを推進しました。

ア）障がいのある子どもとその保護者への支援

○あったかスクラム事業の支援を行い、継続して活動が出来るように支援

○事業計画会議や親の会、子どもたちの活動に参加し情報を提供

○あったかスクラム事業新規立ち上げの支援

○あったかスクラム事業のPR（パンフレット配布、市社協だよりにて活動紹介）

○地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

イ）ぷれジョブの支援

○地区のぷれジョブ定例会等に参加、企業・学校への協力依頼

○ぷれジョブのコーディネート

○地区社協、福祉推進員、民生児童委員等へ協力の呼びかけ

＊ぷれジョブとは・・・

地域の人がボランティアでジョブサポーターとなり、学校から地域の企業に毎週１回、障がいのある子とともに、１時間程度就労体験し、障がいのある子もそうでない子も一緒に生きていくことができる地域社会を共に創るための活動です。

ウ）2017健康福祉フェスティバルのブース出展

　　　あったかスクラムの活動の市民啓発を目的に、2017健康福祉フェスティバルでのブース出展を行った。

◆ブース出展・情報交換会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| ブース出展  ブース出展（続き）  情報交換会 | ●2017健康福祉フェスティバルのブース出展  【日時】　平成29年5月21日(日) 9:30～15:00  【会場】　松江市総合体育館  【内容】  ①あったかスクラムの活動についてのポスター展示  代表して2地区の活動をポスター展示→城西地区、宍道地区  ②動画放映  ・各地区のあったかスクラムの写真をつなげて、スライドショーを作成  ③ポケットティッシュ配布  ④しごとチャレンジ＆ぷれジョブについて  ・しごとチャレンジ＆ぷれジョブのポスターの掲示  ・しごとチャレンジについての報告資料（古志原）を掲示  ・しごとチャレンジについてラミネートされた掲示物（朝日・白潟）を掲示  ●平成29年度あったかスクラム情報交換会  【日時】　平成29年10月5日(木) 10:30～12:00  【会場】　松江市総合福祉センター　4階  【内容】  ①『地域の集まりで、こんなことしてくれる人がいます！』  ・原屋文次さんによるうたのレクリエーション  ・ボランティアセンターで紹介できるボランティア紹介  ②グループ情報交換会 （それぞれの地区、会の状況について）  全体で各グループの発表  【対象者】  地区社協関係者、民生児童委員、福祉推進員、サポーター、ボランティア、あったかスクラム代表者、市内特別支援学校関係者、保健センター（保健師）、知的障がい児・者の相談員、　　　参加人数　40人 |

**2-(2) 緊急事案への対応**

【地域福祉課】

**①生活再建おうちクリーニング事業**

市民が安心・安全に住みなれた地域で暮らすため、高齢化や疾病、障がい等により身辺の整理整頓、衛生的生活環境が保てないことによる健康被害や教育環境を整えることが難しい世帯に対し、市と市社協が協力し、ゴミの片付け、運搬を4件実施し、自立に向けた支援を行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 登録者数 |
| **H29年度** | **4件** |
| H28年度 | 2件 |
| H27年度 | 4件 |

**2-(3) 広域福祉事業の推進**

【生活支援課】

**①福祉サービス利用援助事業の推進**

認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者など判断能力が不十分な方々に対して、できる限り地域で安心して自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理サービス、書類等の預りサービスを行いました。また、関係機関への周知及び連携など事業の円滑な推進に努めました。

◆相談･問合せ件数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | その他 | 計 |
| H29年度 | 1,361件 | 1,924件 | 1,455件 | 82件 | 4,822件 |
| H28年度 | 1,633件 | 2,004件 | 1,280件 | 64件 | 4,981件 |
| H27年度 | 820件 | 1,112件 | 723件 | 29件 | 2,684件 |

◆契約締結人数 （　）内は年度内契約件数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | その他 | 計 |
| H29年度 | 149名(1) | 127名(6) | 90名(3) | 5名(1) | 371名(11) |
| H28年度 | 148名(9) | 121名(6) | 87名(1) | 4名(0) | 360名(16) |
| H27年度 | 139名(4) | 115名(9) | 86名(7) | 4名(0) | 344名(20) |

◆現在の実利用人数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | その他 | 計 |
| H29年度 | 16名 | 67名 | 37名 | 2名 | 122名 |
| H28年度 | 26名 | 66名 | 35名 | 1名 | 128名 |
| H27年度 | 25名 | 65名 | 38名 | 1名 | 129名 |

　　　　「その他」は、高次機能障がいの方

◆生活支援員の配置状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 登録者数 | 内活動者数 |
| H29年度 | 65人 | 42人 |
| H28年度 | 66人 | 40人 |
| H27年度 | 63人 | 43人 |

◆生活支援員研修会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 研修会 | ●日　時　平成29年9月12日(火)　10:00～14:30  会　場　くにびきメッセ　大会議室  内　容　講義　「精神障がいの理解とその対応について」  　　　　　　　　講師　島根県精神保健福祉会事務局長　森脇英人　氏  　　　　 情報交換  参加者　28人 |

**②法人成年後見事業**

成年後見制度とは、認知症、知的障がい、精神的疾病などにより判断能力が十分でない方の権利や財産を守り、支援していく制度です。法人後見事業は、社会福祉法人松江市社会福祉協議会が法人として成年後見人等に就任し、後見事務を行っていく事業で、ご本人の財産管理や契約等の支援を行いました。

◆法人成年後見事業の推移

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 | 計 |
| H29年度 | 4件(後見) | 5件(保佐・後見) | 1件(後見) | **10件** |
| H28年度 | 3件(後見) | 6件(保佐・後見) | 1件(保佐・後見) | 10件 |
| H27年度 | 3件(後見) | 5件(保佐・後見) | 2件(保佐・後見) | 10件 |

◆法人後見支援員の配置状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 登録者数 | 内活動者数 |
| H29年度 | 2人 | 1人 |
| H28年度 | 2人 | 2人 |
| H27年度 | 1人 | 1人 |

**③市民後見人等養成事業**

ア）市民後見人等養成講座（実務編）　申込者がなかったため中止

イ）市民後見人等養成講座（基礎編）の実施

第1回修了者　5人　第2回修了者　14人　（13単位）

◆市民後見人等養成講座（基礎編）プログラム

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 講座 | 開催日・会場 | 項　　　目 | 時　　　間 | 担　　　　当 |
| 講  座  １ | 第1回  11月11日（土）  第2回  2月11日（日）  福祉センター  1階 会議室 | 開講式 | 10:00～10:10 | 市社協生活支援課 |
| 事務局説明、成年後見制度ＤＶＤ研修 | 10:10～11:10 | 市社協生活支援課  生活支援係長 小須賀昭雄 |
| 日常生活自立支援事業  ＤＶＤ研修 | 11:15～12:00 | 市社協生活支援課  主事 福庭真理子 |
| 成年後見制度概論（心構え）、成年後見人の業務 | 13:00～16:00 | 法テラス島根法律事務所  弁護士 澤田博和 氏 |
| 講  座  ２ | 第1回  11月19日（日）  第2回  2月17日（土）  福祉センター  1階 会議室 | 消費者被害への対応 | 9:30～10:10 | 島根県消費者センター  消費生活専門相談員 |
| 障がい者制度と福祉サービス | 10:15～10:55 | 松江市障がい者福祉課  係長 有間智雄 氏 |
| 障がい者の特性と理解 | 11:00～12:00 | まつえ障がい者サポートステーション絆 相談員 梶谷余裕 |
| 認知症高齢者の特性と理解、介護保険制度のしくみと内容 | 13:00～15:00 | 地域包括ケア推進課湖南地域包括支援センターサテライト 社会福祉士 錦織満・宮廻浩彰 |
| 講  座  ３ | 第1回  11月25日（土）  第2回  2月24日（土）  福祉センター  1階 会議室 | ・申立支援  ・任意後見人の業務  ・就任直後の職務  ・就任中の職務  ・任務終了に関する事務 | 13:00～16:30 | 法テラス島根法律事務所  弁護士 澤田博和 氏 |
| 市民後見人等の役割と連携 | 16:30～16:50 | 市社協生活支援課  生活支援係長 小須賀昭雄 |
| 閉講式・修了書授与 | 16:50～17:00 | 市社協生活支援課 |

ウ）市民後見人バンク登録　登録者9名

　　松江市市民後見人等養成講座修了者で本会の市民後見人バンク運営基準を満たした方に市民後見人バンクに登録していただいています。

エ）成年後見制度講座の開催

成年後見制度の理解と周知を目的として、「ご存知ですか？成年後見制度」をテーマに成年後見制度の制度説明や具体的な活動内容等の市民講座を開催しました。併せて市民後見人等養成講座(基礎編)の受講者募集も行いました

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 成年後見制度啓発事業 | 日時 平成29年9月30日（土）13:30～15:00  会場　いきいきプラザ島根  内容　成年後見制度講座「ご存知ですか？成年後見制度」  講師　弁護士　澤田博和　氏(法テラス島根法律事務所)  参加者 34人  講座終了後に、市民後見人養成講座の説明と基礎講座の受講者募集を行  いました。 |

**④権利擁護推進委員会**

ア）権利擁護推進委員会

・目的　　高齢者・障がい者等の権利を守るため、地域における権利擁護のあり方を検討するために開催

・委員　　医師、弁護士、司法書士、社会福祉士、市健康長寿課長、市障がい者福祉課長、市生活福祉課長、市社協地域福祉課長、市社協地域包括ケア推進課長

・事務局　市福祉総務課、市社協生活支援課

・開催日　3月28日

**３．ボランティア活動及び福祉教育**

**3-(1) コーディネート機能強化、見直し**

【地域福祉課ボランティアセンター】

ボランティアをしたい人、ボランティアを必要とする人をつなぐ機能を強化し、高齢者や障がい者など支援を必要とする人が地域の中で自立した生活ができるよう支援しました。

◆ボランティア登録人数及び団体数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 登録ボランティア分類 | H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 個人ボランティア | **193名 （11）** | 191名 | 143名 |
| 団体ボランティア | **109団体（2）** | 104団体 | 96団体 |

（　）は平成29年度の新規登録者（団体）数

◆ボランティアの斡旋実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用状況 | H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 派遣依頼数 | **197件** | 234件 | 181件 |
| 派遣団体数 | **134団体** | 103団体 | 83団体 |
| 個人ボランティア延派遣者数 | **107人** | 195人 | 253人 |
| コーディネート数 | **197件** | 227件 | 175件 |
| キャンセル・該当者なし | **35件** | 7件 | 6件 |

◆市民の相談機関・団体等へのニーズ調査

くらし相談支援センター、障害者サポートステーション絆、地域包括支援センター等社協相談機関、市生活福祉課と連携し必要に応じてボランティアのコーディネートを行いました。

◆「ボランティアニーズ調査アンケート」実施

ボランティア活動の充実や、ボランティア人材確保、ニーズに沿った養成講座や研修会

を開催し、ボランティア活動の支援と機能の充実を図るために、「ボランティアニーズ調査アンケート」を実施しました。

調査対象

　　（１）居宅介護支援事業所等（90施設）

　　（２）社会福祉法人連絡会参加法人（47法人）

（３）福祉推進員（各地区社協へ10名分の配布を依頼）

　　（４）障がい者相談支援事業所（23事業所）

（５）東津田児童館、八雲児童センター

**3-(2) ボランティアの育成、養成**

ボランティア活動の基本的知識、取り組む姿勢の育成・養成を行いました。

**①育成研修**

①-1サマーチャレンジボランティア2017（高校生ボランティア育成研修）

実施期間：平成29年7月23日(日)

内　容　：①災害ボランティア研修（日赤島根県支部協力）

　　　　　②非常食体験（炊き出し訓練）

　　　　　③福祉学習（車イス操作、アイマスク体験）

　　　　　　　④ボランティア体験：児童館（2名）、高齢者福祉施設（1名）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| **12名** | 37人 | 24人 |

参加者数：

①-2あいサポート研修

障がいのある方が暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現を目指す「あいサポート運動」の推進に取り組みました。

ア）「あいサポートメッセンジャー」の育成

○メッセンジャー育成研修（島根県主催）に参加しました。

○松江市内のメッセンジャー登録者（171名）に対し、派遣依頼調査、名簿整理を行いました。

イ）あいサポーター研修の受付・推進

○企業、団体等に対してメッセンジャーを派遣し、研修を実施しました。

実施団体数・・・38団体　　　受講人数・・・1,105人

◆あいサポーター研修実施団体詳細

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 団体種別 | 団体数 | 団体種別 | 団体数 |
| 小学生以下 | 2 | 地域住民 | 7 |
| 中高生 | 5 | ボランティア、福祉活動者 | 3 |
| 大学生 | 0 | 行政 | 9 |
| 企　業 | 12 | 合計 | 38 |

**②養成研修**

障がい児・者を支える人材の育成

○障がい児・者ボランティア講座の開催（6回）

様々な障がいの特性について学ぶとともに、実践活動として地域・学校等の障がい児・者支援の活動への参加を通して、障がいについて理解を深め、すべての人が共に生きるあたたかい地域づくりの推進を図ることを目的に開催しました。

◆障がい児・者ボランティア講座プログラム

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 講座 | 開催日・会場 | 項　　　目 | 担　　　　当 |
| 第１回講座 | 10月27日（金）  総合福祉センター  （参加者14名） | ○「聴覚障がい者の日常生活を知る」  ○コミュニケーション方法  （手話・要約筆記） | NPO法人あけぼの作業所  仲井直美　氏 |
| 第２回講座 | 11月29日（水）  総合福祉センター  （参加者18名） | ○「内部障がいについて」  当事者として伝えたいこと  ○「高次脳機能障害について」 | 島根県腎友会  山根邦夫　氏  脳外傷友の会・らぶ  西村　敏　氏 |
| 第３回講座 | 12月6日（水）  総合福祉センター  （参加者14名） | ○「あいサポーター研修」  ○「障がい者の方から学ぶこと」 | NPO法人Izumo自立センター　放課後等デイサービスすだちクラブ  石川　康平　氏  社会福祉法人　みずうみ  木谷　友映　氏 |
| 第４回講座 | 12月26日（火）  総合福祉センター  （参加者15名） | ○「視覚障がい児・者との関わりについて」  ○「施設職員として伝えたいこと」 | 養護（盲）老人ホーム  かんなび園  栗原　　淳　氏 |
| 第５回講座 | 1月31日（水）  総合福祉センター  （参加者17名） | ○「知的障がいについて」  ○「当事者として伝えたいこと」 | NPO法人こだま  山田　　久　氏  NPO法人こだま  　　利用者4名、スタッフ |
| 第６回講座 | 2月27日（火）  総合福祉センター  （参加者16名） | ○「身体障がいについて」 | 市役所　障がい者福祉課  狩野　正美　氏 |

**③ボランティアセンター個人登録者ボランティア研修の開催**

個人登録者対象に、「話し相手ボランティア」の人材確保のため「聞くこと」のコミュニ

ケーション技能基礎技術を学び、実践に結びつけることを目的に開催しました。

◆傾聴ボランティア研修

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日・会場 | 項　　目 | 講　　師 |
| 2月21日（水）  （参加者17名） | ○「ボランティアに活かす傾聴」 | 傾聴の会まつえ一期  藤田　智子　氏 |

**④ボランティア登録時研修**

　新規登録者11名が登録される際に随時「ボランティアの心得」を説明しました。

**3-(3) ボランティアの活動支援**

**①ボランティアルームの開放及び備品の貸出し及び保険の加入促進**

◆ボランティアルーム利用状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 利用状況 | Ｈ29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 実利用日数 | **209日** | 211日 | 241日 |
| 延べ利用団体数 | **228団体** | 283団体 | 303団体 |
| 延べ利用人数 | **1,293名** | 1,301名 | 1,115名 |

◆ボランティア活動に伴う機材等の貸出

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 貸出機材 | Ｈ29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 印刷機 | **159件** | 151件 | 168件 |
| コピー機 | **71件** | 67件 | 68件 |
| 車椅子 | **108件** | 113件 | 108件 |
| アイマスク | **5件** | 6件 | 10件 |
| その他（OHP、資料図書等） | **41件** | 45件 | 51件 |

◆ボランティア保険の加入促進

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ボランティア保険種類 | Ｈ29年度 | H28年度 | H27年度 |
| ボランティア活動保険 | **8,112名** | 9,227名 | 8,713件 |
| ボランティア行事用保険 | **557件** | 420件 | 400件 |
| 福祉サービス総合補償 | **14件** | 14件 | 15件 |
| 送迎サービス補償 | **3件** | 4件 | 5件 |

**②松江市ボランティア連絡協議会との連携、活動支援**

◆松江市ボランティア連絡協議会登録団体数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分類 | H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 健康・福祉・まちづくり | **45団体** | 35団体 | 34団体 |
| 子ども・青少年・人権 | **13団体** | 22団体 | 23団体 |
| 文化･芸術･ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ･国際･情報 | **34団体** | 37団体 | 36団体 |
| 計 | **92団体** | 94団体 | 93団体 |

**③企業ボランティア松江ネットワーク会議との連携、活動支援**

○加入者数　企業会員67企業　　個人会員70名

○主な活動 設立20周年記念事業（記念講演会、ボランティア標語募集、映画上映会等）、

松江市民余芸大会協力（チケット販売）、美化活動（水郷祭時の清掃等）、

赤い羽根共同募金街頭募金活動、水燈路の行燈協力、情報誌発行

**3-(4) 福祉教育の推進**

福祉教育についての相談や情報提供し、講師派遣の調整を行いました。

◆福祉学習推進の支援（講師派遣数）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | Ｈ29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 学校関係 | 22回 | 21回 | 31回 |

宍道高校（4回）、松江女子高（1回）、美保関中（2回）、湖北中（1回）、玉湯中（2回）、

本庄中（1回）、松江1中（1回）、松江3中（1回）、八束学園（1回）、川津小（1回）、

持田小（1回）、美保関小（1回）、付属小（1回）大庭小（1回）、法吉小（1回）、意東小（1回）、

津田小（1回）

**3-(5) ボランティア活動の広報・啓発・広聴活動の強化**

ホームページの充実や相談受入の充実につとめました。

◆ボランティアセンター情報紙「つなぐ」年1回（5号・6号）発行しました。

◆ホームページの充実は必要に応じ更新しました。

◆収集ボランティア活動支援（古切手、プルタブ、ベルマーク等受付）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | Ｈ29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 受付件数 | 67件 | 81件 | 103件 |

◆第13回松江市ボランティアフェスティバルの開催

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 第13回  松江市ボランティアフェスティバル | 広がれボランティアの輪  ●日時　平成30年3月4日(日)  会場　松江市総合福祉センター全館  主催　第13回松江市ボランティアフェスティバル実行委員会  構成団体　松江市ボランティア連絡協議会  企業ボランティア松江ネットワーク会議  松江市社会福祉協議会（松江市ボランティアセンター）  内容　〇各種団体の展示・体験・販売・ステージ発表  　　　（城西幼保園、松江一中、松江商業高校、ボランティア団体、福祉作業所等）  　　　 〇高校生による「未来のまつえ」プレゼンテーション  ・松江北高・松江南高・松江商業高・松江市立女子高  ○高校生交流会  参加者　約1,200人（来場者1,000人、ボランティアスタッフ200人） |

◆松江市ボランティアセンター雪かきボランティア募集

　冬期の積雪による除雪作業は、一般市民においても負担となっており、特に高齢者世帯や要支援者世帯の日常生活に大きく影響することから、除雪困難な方々の生活支援を目的にボランティア募集を行いました。

**3-(6) 松江市まめなかポイント事業実施**

市の委託事業として、65歳以上の元気高齢者となごやか寄り合い事業を対象にして、高齢者

自身の社会参加活動を通した介護予防の促進と活躍の場の進展、地域活動・ボランティア活動の推進に取り組みました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 個人登録者数 | 団体（なごやか寄り合い）登録数 | 受入施設登録数 |
| 96名 | 208団体 | 37施設 |

**４．在宅生活支援事業の推進**

**4-(1) 地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み**

**①地域包括支援センター事業の推進**

【地域包括ケア推進課】

地域包括ケアシステムを推進するために、平成29年度は「地域ケア会議の充実」を図るため

各包括エリアで個別地域ケア会議を開催し、関係機関の他にアドバイザーとして医師、弁護士、訪問看護師、薬剤師、臨床心理士、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士等の専門職や行政に参加してもらい、介護予防・自立支援に向けたケアマネジメント質の向上や支援のネットワーク構築等をテーマに実施しました。また、地域ケア会議や高齢者の実態把握訪問から見えてきた地域共通の課題については、公民館、地区社協、民生児童委員、福祉推進員、自治会長、住宅供給公社等の関係者による地域ケア会議や、松江市地域ケア推進会議に提出し協議しました。

総合相談では、虐待疑いの相談が増加しており、市と高齢者虐待対応マニュアルを作成し、

包括相談員の研修会を開催し、またブロック連絡会で事業所にも周知を行いました。虐待対応に苦慮している経済的虐待ケースの背景には、高齢化・核家族化の進展、老親と子のみの世帯の増加、介護している子の障がい、引きこもりや失業など低所得による経済的な困窮などの原因がありました。

また認知症の相談も増え、徘徊、独居世帯で生活状況の悪化、地域とのトラブル、介護者へ

の負担増加など、家族だけでは介護できない状況があり、民生児童委員、主治医、ケアマネ、警察等関係機関やご近所等と調整を取りながら対応を行いました。29年度より認知症初期集中支援チームが橋北、橋南担当の２チームが結成され、包括だけでは介入が困難だった事例が、専門医が介入することで認知症の受診・治療や介護サービス利用等につながることが出来ました。

認知症の理解者を増やすため、認知症サポーター養成講座開催や徘徊高齢者家族への支援、

社協だより等での広報なども積極的に行いました。医療と介護の連携強化により医療機関から紹介の新規相談者が増加しました。

平成29年4月から始まった「在宅医療・介護連携推進事業」「認知症総合支援事業」との連

携をはかり、「介護予防・日常生活支援総合事業（以下、総合事業）」へのスムーズな移行に向けて、市と共に「介護予防ケアマネジメントマニュアルの作成（修正）」「総合事業のＱ＆Ａの作成」や介護支援専門員への説明会の開催を行いました。

第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画の作成では、各日常生活圏域における地域包括ケ

アの取り組みについて掲載しました。

■重点事業

1. 地域におけるネットワークの構築

○地区社協、公民館、自治会、民生児童委員、福祉推進員等との連携を図り、早期発見・見守り・支え合いの活動など、地域の福祉関係者と協働できる体制づくりを行いました。

○地域包括支援センターの役割・機能について、包括たより・社協だより等を用いて、市民や関係機関へのＰＲを行ないました。

○地域の社会資源の調査を引き続き行い、ホームページの高齢者お役立ち情報の見直しを行い、スマートフォン対応にしました。

イ）高齢者虐待の防止および対応

　○松江市高齢者虐待等対策検討会への事例提出及び医師・弁護士・成年後見センターと協議を行ないました。

　○市民・関係機関へ包括たより、社協だより、ブロック連絡会等を通じて虐待防止の周知を図りました。

　○市・介護支援専門員等の関係機関と連携して虐待対応を行いました。

　○虐待対応の流れ、市や包括の役割を把握するため高齢者虐待防止マニュアルを作成し、併せて虐待対応シートの見直しを行いました。

ウ）包括的・継続的なケア体制の構築

○医師会とケアマネ協会との合同研修会や各包括エリアの多職種連携会議の開催支援を行ない、医師とケアマネジャー等の顔の見える関係づくりや、多職種の連携構築を図りました。

○医療機関、施設・居宅介護支援事業所のケアマネジャーに「医療機関とケアマネジャーの連携方法一覧」を活用できるよう周知を行いました。

エ）地域ケア会議の計画的な実施

○個別地域ケア会議に各職能団体からアドバイザーとして参加いただき、より良い支援の方策を検討しました。

○個別・地区地域ケア会議から地区課題または政策提言に必要な事項を整理して、市開催の地域ケア推進会議に報告しました。

○介護保険事業所等への啓発として包括公開講座にて地域ケア会議をテーマに研修会を行ないました。

オ）介護予防・日常生活支援総合事業の推進

○総合事業の制度やサービスについて、説明用リーフレットを活用し住民へ周知を行ないました。

○総合事業へのスムーズな移行ができるようにケアマネ支援を行い、課題については研修会等を開催するなど改善に向けて連携を図りました。

○介護予防マネージメントの質の向上を図りました。

○各種団体、ケアマネジャーをはじめ関係機関に必要な情報を提供する。総合事業実施後の課題を市と協議し、介護予防ケアマネジメントマニュアルの修正やＱ＆Ａを作成し、介護支援専門員等へ説明会を開催しました。

カ）認知症支援の取り組み

○認知症初期集中支援チームとの連携の仕組みづくりを構築しました。

○若年性認知症の実態把握を認知症の人と家族の会で介護者からヒアリングを行い、必要とされている支援について市と一緒に検討しました。

○徘徊SOSネットワークで、早期に発見できる方法を検討しました。

◆相談件数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | 相談件数 | | 相談実利用者 | | 新予防給付管理  プラン数(3月末) | | 地域支援活動  会議参加回数 | |
| H29 | H28 | H29 | H28 | H29 | H28 | H29 | H28 |
| 中央地域包括 | 2,638 | 2,806 | 585 | 582 | 461 | 440 | 219 | 259 |
| 松北地域包括 | 1,806 | 1,827 | 273 | 358 | 327 | 304 | 200 | 149 |
| 松東地域包括 | 3,213 | 2,793 | 550 | 513 | 397 | 379 | 334 | 268 |
| 湖南地域包括 | 3,089 | 2,854 | 557 | 484 | 332 | 335 | 266 | 248 |
| 松南第1地域包括 | 2,392 | 2,397 | 572 | 480 | 453 | 429 | 160 | 171 |
| 松南第2地域包括 | 2,093 | 1,799 | 471 | 430 | 266 | 234 | 201 | 208 |
| 計 | **15,231** | 14,476 | **3,008** | 2,847 | **2,236** | 2,121 | **1,380** | 1,303 |

◆ケアマネジャー支援の件数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区　分 | 相談件数 | |
| H29 | H28 |
| 中央地域包括 | 322 | 160 |
| 松北地域包括 | 111 | 46 |
| 松東地域包括 | 215 | 273 |
| 湖南地域包括 | 141 | 74 |
| 松南第1地域包括 | 154 | 202 |
| 松南第2地域包括 | 84 | 131 |
| 計 | 1,027 | 886 |

◆公開講座

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 公開講座  第１回 | ●日時　平成29年10月23日(月)　13:00～15:00  会場　松江市総合福祉センター  内容　講演『地域ケア会議とは』～地域づくりの視点から～  　　　 講師　一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協会  医療経済研究機構研究部  研究員兼研究総務部次長　服部　真治　氏  参加者数　115人 |

◆ブロック連絡会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| ブロック連絡会  第１回  第２回  第３回 | ●日時　平成29年4月20日(木)　13:30～16:00  会場　松江市総合福祉センター  内容　松江市、松江市社会福祉協議会から情報提供  参加者数　230人  ●日時　平成29年9月22日(金)　13:30～15:30  会場　いきいきプラザ  内容　「事例をもとにアセスメントの視点を学ぶ」グループワーク  　　　　在宅医療・介護連携支援センターの役割について  参加者数　32人  ●日時　平成30年2月19日(月)　13:30～15:00  会場　松江市総合福祉センター  内容　虐待対応マニュアルについて  支援現場からの報告  講演「法律の立場から」  講師　弁護士　鳥居竜一　氏  参加者数　142人 |

◆松江市事例検討会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 松江市事例検討会  第１回  第２回  第３回  第４回  第５回  第６回 | ●日時　平成29年5月18日(木)　13:30～15:45  会場　松江市総合福祉センター  参加者数　47人　（事例検討の勉強会）  ●日時　平成29年7月18日(火)　13:30～15:30  会場　いきいきプラザ  参加者数　53人　(橋南エリア４事例)  ●日時　平成29年7月20日(木)　 13:30～15:30  会場　松江市総合福祉センター  参加者数　45人　(橋北エリア４事例)  ●日時　平成29年11月16日(木)　13:30～15:30  会場　松江市総合福祉センター  参加者数　97人　(橋北エリア４事例、橋南エリア４事例)  ●日時　平成30年1月17日(水)　13:30～15:30  会場　松江市総合福祉センター  参加者数　41人　(橋北エリア４事例)  ●日時　平成30年1月22日(月)　13:30～15:30  会場　いきいきプラザ  参加者数　44人　(橋南エリア４事例) |

◆気づきの事例検討会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 気づきの事例検討会  ケアマネ協会との合同事業 | ●日時　隔月第3火曜日実施　18:30～21:00  会場　いきいきプラザ島根  内容　地域におけるスーパーバイザー育成のための事例検討会  参加者数　各27人 |

◆虐待困難事例検討会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 虐待困難事例検討会 | ●日時　全12回　毎月１回開催実施　13:30～15:30  会場　松江市総合福祉センター  内容　助言者を招き、包括内におけるスキル向上のための事例検討会  検討事例　19事例　　経過報告事例　16事例 |

◆地域ケア会議

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 各包括での地域ケア会議  包括合同地域ケア会議  第1回  第2回  第3回  第4回  第5回  第6回  評価会議  第１回  評価会議  第2回 | 個別ケースの情報共有と今後の支援について地域の関係者を含めて開催した。  個別課題の検討　開催回数　78回 参加者数　延472人  　地域課題の検討　開催回数　19回　　参加者数　延117人  多職種が協働で個別ケースの支援内容を検討することで、高齢者の課題解決や、介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力の向上を図った。  ●日時　平成29年6月15日（木）13：45～16：20  会場　松江市総合福祉センター（中央包括）  検討事例　3事例  参加者数　61人  ●日時　平成29年6月16日（金）13：45～16：20  会場　松江市総合福祉センター（松南第１包括）  検討事例　3事例  参加者数　57人  ●日時　平成29年8月17日（木）13：45～16：20  会場　松江市総合福祉センター（松北包括）  検討事例　3事例  参加者数　43人  ●日時　平成29年8月23日（水）13：45～16：20  会場　松江市総合福祉センター（松南第２包括）  検討事例　3事例  参加者数　40人  ●日時　平成29年12月14日（木）13：45～16：20  会場　松江市総合福祉センター（松東包括）  検討事例　3事例  参加者数　44人  ●日時　平成29年12月20日（水）13：45～16：20  会場　松江市総合福祉センター（湖南包括）  検討事例　3事例  参加者数　30人  ●日時　平成30年2月15日（木）13：45～16：05  会場　松江市総合福祉センター（中央・松北包括）  検討事例　6事例  参加者数　34人  ●日時　平成30年2月21日（水）13：45～16：05  会場　松江市総合福祉センター（松南第１・松南第２包括）  検討事例　6事例  参加者数　22人 |

◆熱中症予防の注意喚起

平成29年度は、6月より30度以上の真夏日が続くことが多く、包括の訪問世帯やなごやか寄り合いの会場等で熱中症予防の啓発チラシの配布、声掛けによる注意喚起を行いました。

◆訪問・電話等で注意喚起した人数

|  |  |
| --- | --- |
| 月別 | 注意喚起数 |
| 6月 | 1,111人 |
| 7月 | 1,141人 |
| 8月 | 1,157人 |
| 9月 | 360人 |
| 計 | 3,769人 |

◆なごやか寄り合い等、注意喚起した団体数・人数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 月別 | 注意喚起数 | |
| 団体数 | 参加者数 |
| 6月 | 31団体 | 738人 |
| 7月 | 23団体 | 481人 |
| 8月 | 7団体 | 145人 |
| 9月 | 14団体 | 394人 |
| 計 | 75団体 | 1,758人 |

＊期間：平成29年6月1日～9月30日

**②在宅医療・介護連携支援センター事業の推進**

【地域包括ケア推進課】

平成29年4月に在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の両方を必要とする高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために必要な支援体制の構築に向けて設置されました。

地域における在宅医療と介護の連携をすすめるにあたり、まず地域の医療介護の資源の把握からはじめ、在宅医療・介護に関わる各専門職団体や施設などを訪問し、活動状況や課題の情報収集と当センターの設置の周知を行いました。また、実態把握から医療・介護の連携が円滑になるように専門職を繋ぐ情報共有ツールの周知と整備・作成を行いました。

医療介護関係者の方からの相談をお受けしながら、地域の実情に合わせた在宅医療と介護の連携体制が構築できるよう、情報提供や連携コーディネートに取り組みました。

また、医療・介護関係者の連携だけではなく、主役である地域住民の方に、在宅医療や介護についての理解を深めていただくため、「市民講座」を開催し、地域の方や専門職の協力を得ながら寸劇を通して終末期ケアの現状などについてお伝えしました。

◆地域の医療・介護資源の把握

○地域の医療機関、介護事業所の住所、機能等が紹介されているホームページなどをまとめ、社協ホームページに「地域の医療・介護リンク集」として掲載しました。

○松江市での各専門職団体（医師会、歯科医師会など）などの活動状況、各団体が抱える課題、他の職種との連携の状況についてききとりを行い表にまとめ市に報告しました。他職種との連携のニーズがあった薬剤師会と訪問看護ステーション部会には仲介し、連携が深まるよう支援しました。

○「在宅の利用に関するニーズ調査」を訪問看護ステーション対象に実施し、がん患者など在宅療養における栄養指導のニーズが高く結果を栄養士会へ報告しました。

◆医療・介護関係者の情報共有の支援

○市内6か所で開催されている「多職種連携会議」において多職種間の顔のみえる関係づくりの中で抽出された課題等について把握しました。

○市内で既に使用されている共通書式の周知、新しく使用開始された「歯科医師とケアマネジャーの連絡票」の周知、「訪問看護の情報提供書」の試用開始などに取り組みました。

○医療・介護関係者に周知したい情報について広報誌「RENKEI」を年4回発行しました。

◆在宅医療・介護連携に関する相談支援

○医療・介護関係者等からの、在宅療養や資源、連携に関する相談を受け付け、医療介護関係者が必要な資源の周知、相談から医療介護に関する課題の把握を行いました。

○難病患者の在宅療養の相談をきっかけとして、介護職員による喀痰吸引等の適切な実施や人材確保に向け、アンケートを実施。在宅における吸痰ができる訪問介護人材が不足している現状と原因についての結果を市と県保健所に報告しました。平成30年度からの新規事業として、市では吸痰の研修費の補助事業、県では研修期間の人件費補助制度が開始されることになりました。

◆相談内容

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 内容 | 在宅療養支援 | 医師との  連携 | 介護との  連携 | 病院の入退院支援 | 施設の入所支援 | 医療・介護資源 | その他 | 計 |
| 延件数 | 39 | 18 | 3 | 14 | 13 | 27 | 19 | 131 |

◆相談経路

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相談者 | ケアマネ | 医師 | 病院 | 訪問看護 | 歯科 | 薬剤師 | PT  OT  ST | サービス  事業所 | 行政 | 市民 | 包括 | その他 | 計 |
| 延件数 | 17 | 3 | 14 | 11 | 0 | 3 | 1 | 3 | 7 | 4 | 23 | 10 | 96 |

◆医療・介護関係者の研修

○各種団体の研修会の開催状況を調査（平成28年・29年度分）し、まとめました。

○医療機関や各専門職団体が地域に講師として出かけることができる内容の把握をしました。

○関係団体からの研修企画や開催方法、周知方法についての相談対応をしました。

◆地域住民への普及啓発

○地域住民に対する在宅医療・介護市民講座：テーマ「在宅での看取り」を2地区で開催しました。

本庄地区　参加者80名　　　　法吉地区　参加者120名

○終括支援ノートの活用講座を2回開催しました。

**③生活支援コーディネーター設置事業**

【地域福祉課】

　平成29年度からは生活支援コーディネーターを地域福祉係に統合し、第1層（全市）生活支援コーディネーターを地域福祉係長（1名）、さらに第2層（29地区）生活支援コーディネーターをコミュニティソーシャルワーカー（6名）の兼務とし、次の通りの活動を行いました。

ア）地域の生活課題の把握

　　　平成27年度から地域包括、福祉推進員、民生児童委員、町内会自治会等と実施とした「高齢者の暮らし困ったこんな時お知恵拝借シート」等を活用し、地域の生活課題を把握する取り組みを行いました。

　　　また地区社協事業を始め、なごやか寄り合いなどに出かけ、実態の把握に努めました。

イ）ネットワークづくり

　　　地域の生活課題の検討や住民の主体的な取組による解決を図るため、市内29地区を単位に「第2層協議体」の立ち上げを進めました。平成29年度は八雲地区、忌部地区で立ち上げることが出来ました。

ウ）住民主体の生活支援サービスの開発

　　　高齢者をはじめとする地域住民の「ちょっとした困りごと」を解決するための、住民主体の生活支援サービスや居場所づくり等の立ち上げを支援しました。平成29年度は総合事業訪問型サービスとして2団体、通所型サービスとして9か所が立ち上がりました。

　　　総合事業によるサービス以外にも、社会福祉法人みずうみ「カフェ太郎」を活用した「智者ヶ池・お茶の間カフェ」など、地域の特色に応じた活動への支援を行いました。

エ）サービスの担い手確保

　　　8月2日と1月18日に平成29年度くらし安心サポートセミナーを実施し、67名が受講した。そのうち35名が地域の支え合い活動の担い手として登録された。平成28年度から通算し、受講者は87名、登録者は54名となり、ボランティアセンター個人登録につながったのは15名となった。

　　　訪問型サービスA（基準緩和型サービス）へ従事していただくことを目的に、6月29日、7月6日、7月13日に平成29年度松江市総合事業訪問型サービス従事者養成研修を開催しました。4名が受講をされ、松江市より修了証が授与されました。

◆生活支援コーディネーターの動き

|  |  |
| --- | --- |
| 活動の項目 | 件数 |
| 住民型サービスへの支援 | 51件 |
| 協議体の立ち上げ・運営 | 124件 |
| 人材育成 | 131件 |
| 啓発 | 294件 |

**④認知症地域支援推進事業**

【地域福祉課】

ア）予防・早期発見

○お笑い認知症予防教室の開催

地域住民に認知症に対しての理解をしていただくため寸劇を通して啓発しました。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 実施日 | 会　　場 | 内　　　容 | 参加者数 |
| 4月15日 | ニューアーバンホテル | 電機連合中国ブロック  認知症サポーター養成研修 | 概ね50人 |
| 4月20日 | 東出雲 附谷集会所 | なごやか寄り合い | 概ね20人 |
| 6月15日 | 東出雲 磯近公会堂 | なごやか寄り合い | 概ね10人 |
| 6月28日 | 東出雲老人福祉センター | なごやか寄り合い | 概ね20人 |
| 7月7日 | 意東小学校 | 意東小学校3年生 福祉教育 | 概ね40 人 |
| 7月12日 | 東出雲東の西公会堂 | なごやか寄り合い | 概ね15 人 |
| 7月23日 | 古志原公民館 | 古志原まつり | 概ね200人 |
| 7月19日 | 東出雲 今宮春日公会堂 | なごやか寄り合い | 概ね20人 |
| 7月29日 | アイパルテ 東出雲店 | 福祉教育 | 概ね10人 |
| 7月30日 | アイパルテ 東出雲店 | 福祉教育 | 概ね10人 |
| 8月18日 | 東出雲 藤谷集会所 | なごやか寄り合い | 概ね20人 |
| 9月5日 | 揖屋小学校4年生 | 揖屋小学校4年生 福祉教育 | 概ね30人 |
| 9月18日 | 上意東公民館 | 東出雲 上意東まめなか祭り | 概ね80人 |
| 9月20日 | 出雲郷 集会所 | 高齢者クラブ | 概ね30人 |

イ）支援者づくり・まちづくり

○徘徊SOSネットワークの強化

認知症見守りネットワーク運営の強化

認知症見守りネットワークの協力者募集を機会あるごとに行い登録を促しました。

9月18日のアルツハイマーデーに認知症家族会松江支部と協力し、チラシ等の配布を松江駅並びにイオン松江店にて実施しました。

軽度知的障がいの方の行方がわからなくなり、情報提供を判断する親族が居られなかったため、社協内に設置した対策本部として生命の危機があると判断し、情報配信を行いました。

利用登録者の継続意向調査を行い、登録者の現状把握と名簿整理を行いました。

◆認知症見守りネットワーク

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 登録者数(利用者) | 登録者数(協力者) | 協力事業所数 | 稼動回数 |
| H29年度 | 95人 | 928人 | 25事業所 | 4回 |
| H28年度 | 142人 | 709人 | 25事業所 | 3回 |
| H27年度 | 115人 | 695人 | 25事業所 | 4回 |

○男性介護者フリースペース

仕事と介護の両立や慣れない家事などで苦労が多く、地域で孤立しがちな男性介護者の支援として、平成21年度から男性介護者の集いを開催しています。気軽に立ち寄り、日頃の悩みや介護について男性介護者同士で語り合える「フリースペース」の形式で毎月第３金曜日に松江市総合福祉センターで開催しました。

◆男性介護者の集い参加状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催月 | 参加人数 | ボランティア | 相談対応 |
| 4月 | 7人 | 傾聴ボランティア「まつえ一期の会」 | ・地域包括支援センター  ・地域福祉課 |
| 5月 | 5人 |
| 6月 | 5人 |
| 7月 | 4人 |
| 8月 | 5人 |
| 9月 | 4人 |
| 10月 | 4人 |
| 11月 | 5人 |
| 12月 | 4人 |
| 1月 | 3人 |
| 2月 | 4人 |
| 3月 | 3人 |
| 計 | **53人** |

○家族介護者交流会

在宅で家族の介護をしている家族介護者が相互に交流や講話などを通じて元気回復を図ることを目的に、年に６回実施をしました。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 日時 | 会場 | 参加者 | 内容 |
| 第1期 | 8月23日（水）  10:30 ～ 13:30 | 鹿島　多久の湯 | 11名 | 笑い療法士による講演と昼食交流会  （講師：藤原ヒロコ　氏） |
| 8月29日（火）  10:30 ～ 13:30 | 6名 |
| 第2期 | 10月18日（水）  10:30～13:30 | 玉造温泉ゆ～ゆ | 5名 | 民話の語り部による講演と昼食交流会  （講師：多勢久美子　氏） |
| 10月24日（火）  10:30～13:30 | 3名 |
| 第3期 | 2月9日（金）  10:30 ～ 13:30 | 松江市  総合福祉センター | 5名 | コーヒーに関する講話とコーヒードリップ体験  （講師：伊藤知恵　氏） |
| 2月15日（木）  10:30 ～ 13:30 | 5名 |

**4-(2) 支援策研究開発会議**

【生活支援課】

総合相談機能の強化及びコミュニティソーシャルワーク機能の強化を図るため、「支援策研究開発会議」を開催し、「研究会」と「開発会議」の二つの会議を柱に、事業と事例の検証を重ね、組織における問題・課題の洗い出しとその対策について検討し、社協だからこそできる領域にとらわれないコミュニティソーシャルワーク的アプローチをそれぞれの業務で実践していくために、各課事業の進捗管理、職員からのミドルアップ、管理職への提言、そしてミドルダウンを行う会議として取り組みました。

また、市民向けの講座としてタイムリーなテーマで市民公開講座と個別の相談会を開催しました。

◆会議開催状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 回数 | 内　容 |
| 開発会議 | 11回 | 各課重点事業の進行管理（情報共有・課題整理）、総合相談機能の強化（個別へのアプローチ）・ニーズ把握、地域づくり（新しいサービス、仕組みの創出）、地域へのアプローチ |
| 研究会 | 1回 | ●日時　平成29年3月29日(木) 参加者 77名  「社協事業報告会」  ○「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業について○地域力強化推進事業について○他機関の協働による包括的支援体制構築事業について○医療介護連携支援センターについて○一時生活支援事業（シェルター）について |
| 対策会議 | 9回 | 複合課題困難事例の支援策検討、財産等一時預かりの検討 |
| 困難事例検討会 | 1回 | 専門的な助言を必要とするケースについて外部のアドバイザーを招いての検討 |

◆市民公開講座・個別相談会

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 市民公開講座  第1回  第2回  第3回 | 日時 平成29年7月15日（土）13:30～15:30  会場　松江市総合福祉センター　大ホール　**参加者 70名**  ●講演「重症心身障がい児者をめぐる状況」  講師：鳥取大学医学部付属病院小児在宅支援センター　玉崎章子准教授  ●シンポジウム　「地域でのくらしを考える」  日時 平成29年10月7日（土）13:30～15:00  会場　松江市総合福祉センター　教養室　**参加者 50名**  内容　**『知って得する！安心！法律問題 』～ 相続・遺言から成年後見まで ～**  **●演題「転ばぬ先の杖 相続問題」**  **講師：法テラス島根法律事務所 弁護士 澤田　博和 氏**  **●演題「ご存じですか 遺言の書き方」**  **講師：法テラス島根法律事務所 弁護士 桑原　慶 氏**  個別相談会　15:30～17:00　島根県弁護士会弁護士・地域包括支援センター相談員  による「なんでも相談会」　相談者9名  日時 平成30年1月14日（日）13:30～15:00  会場　松江市総合福祉センター　教養室　**参加者 34名**  内容　**『知って得する！安心！法律問題 』～ 相続から成年後見まで ～**  **●演題 「相続から成年後見まで 」**  **講師：法テラス島根法律事務所 弁護士 澤田　博和 氏**  **講師：法テラス島根法律事務所 弁護士 桑原　慶 氏**  個別相談会　15:15～16:45　島根県弁護士会弁護士・地域包括支援センター相談員  による「なんでも相談会」　相談者9名 |

**4-(3) 社協内相談事業連絡会議**

【生活支援課】

　相談ケースの情報共有と連携方法や支援についての検証を行うため、社協内各課の相談事業連絡会を開催しました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名等 | 回数 | 内　容 |
| 相談事業連絡会 | 12回 | 各課相談事業の情報共有と連携方法や支援についての検証 |

**4-(4) 各種貸付相談**

【生活支援課】

島根県社会福祉協議会が実施する生活福祉資金制度の受付相談と自主事業として、低所得世帯に対し生活に緊急的に必要な一定の資金を貸し付ける民生融金貸付事業を実施し、世帯の自立を図ることを目的として相談、貸付を行いました。

◆相談件数

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 相談件数 |
| H29年度 | **1,008件** |
| H28年度 | 927件 |
| H27年度 | 977件 |

◆月別相談件数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 件数 | 51 | 86 | 67 | 94 | 110 | 69 | 70 | 76 | 80 | 85 | 100 | 120 |

**①生活福祉資金の貸付**

低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を中心に貸付及び援助指導を民生児童委員の協力を

得て行いました。また、母子福祉資金等、他制度との連携も図り適切な運営に努めました。

■福祉資金（生業、技能習得、住宅、福祉用具、障がい者自動車、療養、介護、災害援護

その他福祉費、緊急小口）

■教育支援資金

■不動産担保型生活資金

■総合支援資金

◆生活福祉資金貸付実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 貸付件数 | 貸付金額 |
| H29年度 | **47件** | **44,656,000円** |
| H28年度 | 65件 | 65,965,000円 |
| H27年度 | 53件 | 36,378,462円 |

◆生活福祉資金 資金内訳（47件）

■住宅改修費（2件）■技能習得経費（4件） ■一時的必要経費（7件）■教育支援費（15件）

■療養費（3件）■障がい者自動車購入（3件）■緊急小口（11件）■総合支援資金（1件）

■要保護向け不動産担保型生活資金（1件）

**②民生融金の貸付**

生活困窮者に対する緊急の小口融資生活資金として、民生児童委員の協力により1件5万円

以内で貸付支援を行いました。

◆民生融金貸付実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 貸付件数 | 貸付金額 |
| H29年度 | **124件** | **1,916,600円** |
| H28年度 | 161件 | 2,648,200円 |
| H27年度 | 204件 | 3,468,000円 |

**4-(5) 福祉サービス**

**①福祉サービスの充実及び企画・実施**

【地域福祉課】

ア）移送サービスの実施

本所と湖南事業所（宍道健康センター）の2ヵ所を拠点に市町村有償運送事業を松江市から受託し、移送サービス事業を実施しました。

高齢者や障がい者の自立と社会参加の促進を図るとともに、市民相互の連帯と互助精神に基づく福祉のまちづくりを推進することを目的とし、医療機関等の通院を主として、福祉車輌を利用した送迎サービスを行いました。

◆移送（たんぽぽ）サービス事業の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 本所 | 湖南事業所 | 計 |
| 福祉車輌 | 2台 | 2台 | 4台 |
| 利用会員数 | 15人 | 13人 | 28人 |
| 登録運転協力員数 | 16人 | 0人 | 16人 |
| 専属運転士(社協職員) | 0人 | 3人 | 3人 |

◆移送（たんぽぽ）サービス事業実績（本所）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 通院・入退院 | 168件 | 185件 | 219件 |
| 施設利用 | 0件 | 1件 | 1件 |
| 行事・会議等の参加 | 1件 | 2件 | 1件 |
| 行政機関等の訪問 | 11件 | 6件 | 6件 |
| 買い物 | 0件 | 0件 | 0件 |
| その他利用 | 0件 | 0件 | 1件 |
| 計 | **180件** | 194件 | 228件 |

◆移送（たんぽぽ）サービス事業実績（湖南事業所）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 通院・入退院 | 91件 | 127件 | 156件 |
| その他利用 | 0件 | 0件 | 1件 |
| 計 | **91件** | 127件 | 157件 |

イ）住民参加型在宅福祉サービス事業の推進（ゆうあいヘルプサービス）

高齢化の進行や社会の変化に伴い、多様化する福祉ニーズに対応するため、住民主体による住民同士の助け合いを基本とした住民参加型ヘルプサービスを展開することにより、在宅生活の安定と福祉の増進を図ることを目的に事業を実施しました。

また、協力会員の募集や協力会員同士の情報交換、資質向上のための研修会の開催、県内の

住民参加型の在宅福祉サービスを実施している団体と情報交換や、「しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク」に加入し、研修会へ参加しました。

◆ゆうあいヘルプサービス事業の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 利用会員 | 133人 | 142人 | 144人 |
| 協力会員 | 61人 | 58人 | 41人 |

◆ゆうあいヘルプサービス実績（1時間単位のサービス時間を設定）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 利用回数（家事） | 2,405回 | 2,872回 | 2,244回 |
| 利用時間（家事） | 3,810時間 | 4,630時間 | 3,908時間 |
| 利用回数（介護） | 1,040回 | 1,278回 | 991回 |
| 利用時間（介護） | 1,820時間 | 2,278時間 | 2,003時間 |
| 利用回数（認知） | 0回 | 0回 | 0回 |
| 利用時間（認知） | 0時間 | 0時間 | 0時間 |
| 利用回数(計) | 3,445回 | 4,150回 | 3,235回 |
| 利用時間(計) | **5,630時間** | 6,908時間 | 5,911時間 |

◆協力会員研修会の実施及び参加

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| しまね住民参加型在宅福祉サービス団体ネットワーク研修会 | ●日時　平成30年2月26日(月)  会場　いきいきプラザ島根403研修室  内容　総会　実践報告　意見交換　　　参加者数　1人 |

**②介護職員初任者研修の実施**

【総務課】

介護の分野で働きたいという方を対象に、介護等に必要な基礎知識・技術の習得を目的として講座を開催しました。この講座は島根県社会福祉協議会が実施する「中高年齢者等への入門的研修事業」の一環として実施し、修了者については、事業所での実地教育訓練を通して、就労支援が行われました。

◆介護職員初任者研修の実施状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | H29年度 | H28年度 | H27年度 |
| 修了者数 | **13人** | 5人 | 19人 |
| 開催回数 | **1回** | 1回 | 1回 |
| 内容  (共通) | 開催時期　9月～10月  講義　　　65時間  実技講習　53時間  実習　　　12時間　　計130時間 | | |

**５．公的福祉サービス受託事業の推進**

**5-(1) なごやか寄り合い事業**

【地域福祉課】

永年住み慣れた地域での生活を継続できることを目的とした「なごやか寄り合い事業」の立ち上げと円滑な継続運営に向けた取り組みに対して支援を行いました。

◆なごやか寄り合い事業実施状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 実施会場数 | 実施回数 | 参加者延人数 |
| H29年度 | 373カ所 | 3,177回 | 42,624人 |
| H28年度 | 366ヶ所 | 3,140回 | 42,271人 |
| H27年度 | 370カ所 | 3,223回 | 42,802人 |

◆公民館区ごとの実施状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 地区名 | 会場数 | 回数 | 地区名 | 会場数 | 回数 |
| 大庭 | 19 | 130 | 持田 | 12 | 93 |
| 古志原 | 13 | 80 | 本庄 | 13 | 80 |
| 忌部 | 18 | 74 | 朝酌 | 9 | 28 |
| 竹矢 | 12 | 69 | 古江 | 6 | 54 |
| 津田 | 11 | 89 | 秋鹿 | 12 | 56 |
| 乃木 | 11 | 107 | 大野 | 8 | 49 |
| 雑賀 | 7 | 75 | 鹿島 | 17 | 329 |
| 朝日 | 8 | 68 | 島根 | 18 | 165 |
| 白潟 | 9 | 76 | 美保関 | 22 | 217 |
| 城西 | 8 | 30 | 八雲 | 18 | 160 |
| 城東 | 4 | 24 | 玉湯 | 18 | 128 |
| 城北 | 4 | 102 | 宍道 | 24 | 202 |
| 法吉 | 10 | 68 | 八束 | 7 | 50 |
| 生馬 | 11 | 101 | 東出雲 | 28 | 310 |
| 川津 | 16 | 163 | 合計 | **373** | **3,177** |

ア）継続支援、立ち上げ支援

継続会場からの相談対応、新規会場の立ち上げ支援およびボランティア行事用保険手続き・物品支給の対応をました。また、福祉推進員・民生児童委員・自治会等において、本事業に関する相談対応・情報提供を随時行いました。

◆継続支援、立ち上げ支援の状況

|  |  |
| --- | --- |
| 立ち上げ相談・説明会 | 29地区（32回） |
| 立ち上げボランティア行事用保険 | 15会場　72件（約2,635人分） |
| 物品提供 | 14会場　172件 |

イ）「なごやか寄り合い事業」通信（事務局版）の発行

事業の現状、なごやか寄り合い事業、ボランティア研修会などの様子を記入した事務局を作成し、地区社協・実施会場・その他関係機関等に配布しました。

ウ）「なごやか寄り合い事業」ボランティアスタッフ研修会の開催

◆ブロック研修会の開催

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| ブロック研修会  橋南エリア  橋北エリア | ●日時　平成29年10月25日（水）10：00～12:00  会場　松江市総合福祉センター  内容　実践報告　 鹿島地区　昭栄なごやかカフェ  朝日地区　伊勢宮地区なごやか寄り合い  情報交換 （グループトーク） 参加者　約60人  ●日時　平成29年10月26日（木）10：00～12:00  会場　松江市総合福祉センター  内容　実践報告　 鹿島地区　昭栄なごやかカフェ  朝日地区　伊勢宮地区なごやか寄り合い  情報交換 （グループトーク）　参加者　約60人 |

◆全体研修会の開催

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 全体研修会 | ●日時　平成30年2月14日（水）10：00～15:30  会場　くにびきメッセ　国際会議場、大展示場  内容　福祉推進員・なごやかスタッフ実践力強化研修  　　　 なごやか寄り合いへの出前講座の大見本市  参加者　約300人 |

**5-(2)まつえ障がい者サポートステーション絆の運営事業**

【生活支援課】

障がい(児)者相談員が障がい(児)者の生活上の問題の相談に応じ、情報提供・助言・その他障がい福祉サービスの利用支援を行うとともに、関係機関との連携を図り、障がい児(者)の地域生活に関わる相談を行いました。

その運営については、松江市との合同事務局として推進しました。

◆相談実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 相談者実人数（者）／（児） | 相談延件数（者）／（児） |
| H29年度 | **180人／64人** | **620件／103件** |
| H28年度 | 243人／60人 | 660件／140件 |
| Ｈ27年度 | 202人／48人 | 559件／ 78件 |

○障がい者サポートステーション「絆」運営

事務局会議（事務局として松江市と社協で協議）　　　　　　　　　　　　計13回実施

運営会議（総合支援協議会に向けての事前協議）　　　　　　　　　　　　計12回実施

○エスコ・ウイッシュ・絆との定例会（エスコ・ウイッシュとの連携についてサポート絆の事

務局との協議）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計6回実施

○ぷらす・絆との定例会（ぷらすとの連携についてサポート絆の事務局との協議）

計5回実施

○事業所連絡会（サポート絆の構成事業所との協議及び事例検討）　　　　　計12回実施

　○絆研修関係

・アセスメント力向上事例検討会　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計10回実施

　　・サポートステーション絆研修　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　計4回実施

　　・サポートステーション絆市民公開講座　　　　　　　　　　　　　　　　計2回実施

　　・関係団体、他専門職との意見交換会　　　　　　　　　　　　　　　　　計6回実施

◆知的障がいをもつ働く青年たちの仲間づくりと、余暇活動の支援、それを支えるボランティア

の組織づくり

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 年間実施  回数 | 参加者  延人数 | ボランティア  延人数 |
| クッキングクラブ | 7回 | 86人 | 34人 |

　○コスモスの会（障がい者余暇支援団体）との連絡会　　　　　　　　　　　計12回実施

◆公民館を拠点とする障がい者の活動支援

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 年間実施  回数 | 参加者  延人数 | ボランティア  延人数 |
| 湖北だんごの会 | 24回 | 144名 | 120名 |

**5-(3) 生活困窮者自立相談支援事業（松江市くらし相談支援センター）**

【生活支援課】

生活困窮者等の生活相談に応じ、必要な情報提供や相談支援を行うとともに、法テラスやハローワーク等の関係機関との連携を図りながら、自立相談支援業務を行いました。

◆松江市くらし相談支援センター相談件数

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 新規相談者実人数 |
| Ｈ29年度 | 223人 |
| Ｈ28年度 | 374人 |
| Ｈ27年度 | 622人 |

◆月別相談件数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 件数 | 27 | 26 | 17 | 18 | 12 | 23 | 14 | 15 | 14 | 28 | 14 | 15 |

◆主な相談内容と支援内容（重複あり）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相談内容 | 人数 |  | 支援内容 | | 人数 |
| 病気・健康 | 47人 | 制度利用 | 住宅確保給付金 | 1人 |
| 住まい | 84人 | 一時生活支援事業 | 31人 |
| 収入・生活費 | 105人 | 家計相談支援事業 | 14人 |
| 家賃やローン | 16人 | 就労準備支援事業 | 15人 |
| 税金・公共料金支払 | 16人 | 入居債務保証 | 21人 |
| 債務 | 30人 | 生活福祉資金 | 9人 |
| 仕事探し・就職 | 44人 | 民生融金 | 12人 |
| 仕事上の不安・トラブル | 4人 | フードバンク | 71人 |
| 地域との関係 | 3人 | 就労支援促進事業 | 10人 |
| 家族との関係 | 33人 | 他機関へ  引継ぎ・同行 | ハローワーク同行・連絡調整 | 18人 |
| 子育てのこと | 5人 | 法テラス | 12人 |
| 介護のこと | 2人 | サポート絆 | 6人 |
| 引きこもり・不登校 | 6人 | 包括支援センター | 11人 |
| DV・虐待 | 6人 | 市窓口 | 64人 |
| 食べるものがない | 36人 |  | | |
| その他 | 38人 |

**①自立相談支援事業 （松江市委託事業）**

　生活困窮者の就労その他の自立に関する相談支援で、自立支援計画（プラン作成）を作成し、

各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整を実施等の業務を行いました。

**②一時生活支援事業（松江市委託事業）**

緊急に衣食住の確保が必要な方に、緊急一時的な宿泊場所の調整や食糧支援等を行い、就労

や住まい探しなどの相談支援を行いました。

**③住居確保給付金**

　離職により住居を失い生活に困っている方、または住居を失うおそれの高い方に、一定期間

の松江市からの家賃支給申請を行い、安心して就職活動ができるように支援を行いました。

**④家計相談支援事業（松江市委託事業）**

家計の視点から必要な情報提供などを行うとともに、相談者自身が家計を管理できる力を高

める支援や家計に関する課題を解決するための様々な機関につなぐなどの支援を行いました。

**⑤就労準備支援事業（松江市委託事業）**

就職活動や社会との関わりに不安がある方などを対象に就労に向けた個別の準備支援や就労

準備講座の開催を行いました。

**⑥入居債務保証制度**

　家賃等について継続的に支払いができる方で、賃貸住宅に入居する際の保証人がいないために

住居の確保ができない方を対象に社会福祉協議会が滞納家賃等を保証し、住まいの確保を支援し

ました。

**⑦フードバンク事業**

　くらし相談支援センターでの相談者をはじめ、社協貸付相談、地域包括支援センター、市福祉事務所などからの相談に応じて、緊急的な対応としてフードを提供しました。

◆提供者数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 実利用者 | 延べ利用者 |
| 提供数 | 170名 | 337名 |

◆寄付件数

　　家庭で眠っている食品を寄贈いただき、生活に困窮している方や福祉施設、団体に無償で提供するボランティア活動です。今年度もインスタント食品やレトルト食品、缶詰などの保存食品等多数のご寄付がありました。

寄付者数（個人・団体）135人　　品数3861個

◆ひとり一品運動

フードバンク事業の啓発活動として、平成29年11月27日（月）～平成29年12月1日（金）まで「ひとり一品運動」を実施し、多くの食品や日常生活用品等を寄贈いただきました。

**⑧「助っ人弁護士制度」（法テラス島根との連携）**

法テラス島根と連携して、法テラススタッフ弁護士による情報提供や契約弁護士による法律

相談、くらし相談支援センター職員との事例検討等を行い、司法と福祉の連携を図りました。

◆助っ人弁護士制度の実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 方　法 | 件　数 |
| H29年度 | 面談での情報提供 | 97件 |
| ホットライン（電話での情報提供） | 93件 |
| ケース検討等 | 259件 |
| 法律相談につながったケース | 22件 |

**６．介護保険関係事業の推進**

高齢者が介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で人としての尊厳を保って生活できるよう、またできる限り在宅において自分の力で生活できるよう自立を支援するため、本会で運営する４つの介護センターにおいて、利用者ニーズを反映できるサービスが提供できるよう基盤整備に努め、介護や予防援助を必要とする高齢者の在宅生活を支援しました。

**6-(1) 松江社協介護センターの経営**

【総務課：松北事業所】

**①居宅介護支援事業**

居宅介護支援事業者として松江社協介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、

サービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆松江社協居宅介護支援事業所職員体制

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 職員数 |
| H29年度 | **2人** |
| H28年度 | 2人 |
| H27年度 | 3人 |

◆松江社協介護支援事業ケアプラン作成数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 作成人数 | 総　　合 | 要支援 | | | 要介護 | | | | | 認定待ち | 相談延人数 | 訪問延人数 |
| 1 | 2 | 1 | | 2 | 3 | 4 | 5 |
| H29年度 | **916** | **18** | **61** | **67** | **336** | | **249** | **106** | **65** | **14** | **0** | **6,555** | **2,009** |
| H28年度 | 874 |  | 98 | 96 | 327 | | 204 | 119 | 33 | 0 | 0 | 4,365 | 1,400 |
| H27年度 | 1,079 |  | 163 | 123 | 427 | | 210 | 106 | 38 | 12 | 0 | 3,865 | 1,510 |

**②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業**

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松江社協介護センターにおいて、訪問介

護員(ホームヘルパー)11名（正規1名、嘱託3名、パート7名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し，入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助，生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護体制》

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | サービス提供責任者 | 常勤ヘルパー | パートヘルパー |
| H29年度 | **2人** | **2人** | **7人** |
| H28年度 | 2人 | 1人 | 12人 |
| H27年度 | 2人 | 1人 | 16人 |

◆松江社協訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績》　　　　　　　　　　 （人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 総合 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
| H29年度 | **15** | **84** | **111** | **106** | **98** | **39** | **19** | **33** | **490** |
| H28年度 |  | 102 | 75 | 134 | 98 | 56 | 19 | 5 | 489 |
| H27年度 |  | 259 | 199 | 258 | 162 | 45 | 27 | 18 | 968 |

**6-(2) 美保関介護センターの経営**

【総務課：松東事業所】

**①居宅介護支援事業**

居宅介護支援事業者として美保関介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サ

ービス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプラン作成に努めました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆美保関居宅介護支援事業所体制

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 職員数 |
| H29年度 | **2人** |
| H28年度 | 2人 |
| H27年度 | 2人 |

◆美保関介護支援事業ケアプラン作成数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 作成人数 | 総　　合 | 要支援 | | 要介護 | | | | | 認定待ち | 相談延人数 | 訪問延人数 |
| 1 | 2 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |  |  |  |
| H29年度 | **852** | **2** | **40** | **65** | **385** | **197** | **110** | **34** | **19** | **0** | **4,030** | **1,382** |
| H28年度 | 949 |  | 58 | 72 | 343 | 269 | 114 | 81 | 22 | 2 | 3,583 | 1,423 |
| H27年度 | 947 |  | 79 | 101 | 419 | 183 | 95 | 70 | 0 | 0 | 2,799 | 1,368 |

**②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業**

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として美保関介護センターにおいて、八束町、

美保関町を対象に訪問介護員(ホームヘルパー)10名（嘱託2名、パート8名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し，入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助，生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | サービス提供責任者 | 常勤ヘルパー | パートヘルパー |
| H29年度 | **2人** | **0人** | **8人** |
| H28年度 | 2人 | 0人 | 7人 |
| H27年度 | 2人 | 1人 | 8人 |

◆美保関訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績　　　　　　　　　 　　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 総合 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
| H29年度 | **1** | **108** | **213** | **222** | **66** | **52** | **13** | **13** | **688** |
| H28年度 |  | 103 | 193 | 235 | 46 | 32 | 6 | 14 | 629 |
| H27年度 |  | 71 | 144 | 220 | 55 | 19 | 3 | 12 | 524 |

**③通所介護事業及び介護予防通所介護事業**

通所介護事業及び介護予防通所介護事業所を「香梅の里」で実施しました。要介護又は要支

援の状態の利用者に対し、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことのできるよう、必要な日常生活上の世話やレクリエーションをおこなうことにより、利用者の孤立感の解消及び心身の機能維持、並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図りました。

◆美保関通所介護及び介護予防通所介護体制（兼務有）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 生活相談員 | 看護職員(機能訓練) | 介護職員 |
| H29年度 | **3人** | **4人** | **10人** |
| H28年度 | 2人 | 3人 | 9人 |
| H27年度 | 2人 | 2人 | 8人 |

◆美保関通所介護事業

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 年度末実  利用者数 | 稼働日数 | 年間延  利用者数 | 年間延入浴利用者数 | 年間延食事利用者数 | | 一日平均  利用者数 | 通所介護  3h～5h(人) | 通所介護  5h～7h(人) | 通所介護  7h～9h(人) |
| H29年度 | **39** | **306** | **4,558** | **4,521** | **4,549** | **14.8** | | **4** | **88** | **4,466** |
| H28年度 | **41** | **307** | **5,757** | **5,676** | **5,757** | **18.6** | | **2** | **66** | **5,690** |
| H27年度 | 49 | 309 | 5,435 | 5,288 | 5,434 | 17.6 | | 2 | 24 | 5,409 |

◆美保関介護予防通所介護事業

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | 年度末実  利用者数 | 稼働日数 | 年間延  利用者数 | 年間延入浴利用者数 | 年間延食事利用者数 | 一日平均  利用者数 | 介護予防  通所介護1 | 介護予防  通所介護2 |
| H29年度 | **7** | **306** | **617** | **520** | **617** | **2.0** | **186** | **617** |
| H28年度 | 11 | 307 | 449 | 376 | 449 | 1.5 | 174 | 275 |
| H27年度 | 8 | 309 | 450 | 372 | 450 | 1.5 | 158 | 292 |

**6-(3) 松南介護センターの経営**

【総務課：松南事業所】

**①居宅介護支援事業**

居宅介護支援事業者として松南介護センターにおいて主治医、地域包括支援センター、サー

ビス提供事業所と連絡を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆松南居宅介護支援事業所体制

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 職員数 |
| H29年度 | **3人** |
| H28年度 | 3人 |
| H27年度 | 3人 |

◆松南介護支援事業ケアプラン作成数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 作成人数 | 総合事業 | 要支援 | | | 要介護 | | | | | 認定待ち | 相談延人数 | 訪問延人数 |
| 1 | 2 | 1 | | 2 | 3 | 4 | 5 |
| H29年度 | **1,300** | **43** | **126** | **134** | **521** | | **234** | **165** | **68** | **9** | **0** | **8,445** | **3,107** |
| H28年度 | 1,273 |  | 84 | 179 | 546 | | 245 | 135 | 55 | 29 | 0 | 6,925 | 2,823 |
| H27年度 | 1,248 |  | 122 | 137 | 518 | | 282 | 133 | 19 | 37 | 1 | 6,447 | 2,780 |

**②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業**

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として松南介護センターにおいて、訪問介護員

(ホームヘルパー)8名（嘱託2名、パート6名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し，入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助，生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | サービス提供責任者 | 常勤ヘルパー | パートヘルパー |
| H29年度 | **1人** | **1人** | **6人** |
| H28年度 | 1人 | 1人 | 6人 |
| H27年度 | 2人 | 0人 | 7人 |

◆松南訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績　　　　　　　　　　 　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 総合 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
| H29年度 | **1** | **53** | **82** | **126** | **68** | **19** | **21** | **0** | **370** |
| H28年度 |  | 39 | 66 | 125 | 72 | 13 | 11 | 0 | 326 |
| H27年度 |  | 45 | 79 | 142 | 72 | 47 | 0 | 0 | 385 |

**6-(4) 宍道介護センターの経営**

【総務課：湖南事業所】

**①居宅介護支援事業**

宍道居宅介護支援事業者として主治医、地域包括支援センター、サービス提供事業所と連絡

を取りながら、利用者の立場に立ったケアプランを作成しました。（要支援者に対するケアプラン作成については地域包括支援センターより受託）

◆宍道居宅介護支援事業所体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 職員数 | 常勤換算 |
| **H29年度** | **3人** | **2.7人** |
| H28年度 | 3人 | 3.0人 |
| H27年度 | 3人 | 3.0人 |

\*常勤換算とは　「常勤の職員の人数」＋「（非常勤の職員の勤務時間）÷（常勤の職員が勤務すべき時間）」で算出

\*常勤とは　正職員、パート等雇用形態を問わず、フルタイムで働く者をいいます。

◆宍道介護支援事業ケアプラン作成数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 作成人数 | 総合事業 | 要支援 | | | 要介護 | | | | | 認定待ち | 相談延人数 | 訪問延人数 |
| 1 | 2 | 1 | | 2 | 3 | 4 | 5 |
| H29年度 | **1,181** | **55** | **94** | **120** | **434** | | **234** | **168** | **65** | **11** | **0** | **2,402** | **1,748** |
| H28年度 | 1,148 |  | 125 | 99 | 443 | | 209 | 158 | 94 | 20 | 0 | 2,513 | 1,719 |
| H27年度 | 1,176 |  | 94 | 110 | 367 | | 258 | 201 | 98 | 48 | 0 | 2,567 | 2,136 |

**②訪問介護事業及び介護予防訪問介護事業**

訪問介護事業者及び介護予防訪問介護事業者として宍道介護センターにおいて、訪問介護員

(ホームヘルパー)13名（嘱託1名、常勤1名、パート11名）体制により、身体上または精神上の障がいのある方に対して、訪問介護員が自宅を訪問し，入浴・排泄・食事等の身体介護、調理・洗濯・掃除等の生活援助，生活等に関する相談・助言、その他必要な日常生活上の世話などの訪問介護サービスを提供、援助しました。

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | サービス提供責任者 | 常勤ヘルパー | パートヘルパー |
| H29年度 | **1人** | **1人** | **11人** |
| H28年度 | 1人 | 1人 | 11人 |
| H27年度 | 1人 | 1人 | 12人 |

◆宍道訪問介護及び介護予防訪問介護派遣実績　　　　　　　　　　　 　　（人）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 総合 | 支援1 | 支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 計 |
| H29年度 | **17** | **29** | **68** | **169** | **72** | **28** | **23** | **29** | **435** |
| H28年度 |  | 43 | 59 | 109 | 105 | 36 | 6 | 28 | 386 |
| H27年度 |  | 58 | 58 | 148 | 96 | 45 | 11 | 27 | 443 |

**6-(5) 介護センターの研修等の推進**

【総務課】

**①介護支援専門員資質向上事業(ケアマネ更新研修等)**

介護支援専門員の資質の確保・向上を図るために、介護支援専門員証の更新制度（5年更新）

が設けられており、松江市社協内の介護支援専門員資格者が下記の介護支援専門員研修に参加しました。

◆ケアマネ更新研修等参加状況

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 専門Ⅰ | 専門Ⅱ | 主任 | 主任　　更新 | 更新 | 計 |
| H29年度 | **0** | **5** | **2** | **4** | **12** | **23** |
| H28年度 | 5 | 6 | 4 | 3 | 3 | 21 |
| H27年度 | 3 | 6 | 5 | 0 | 4 | 18 |

**②訪問介護員内部研修**

日頃研修機会の少ない訪問介護員の資質向上を図るためグループに分け内部の社協内訪問介

護事業所の全体研修を実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 訪問介護員  内部研修【第1回】  内部研修【第2回】 | ●日時　 平成29年6月13日（火）  会場　 松江市総合福祉センター　3階　婦人研修室  内容　「福祉用具の使い方とポジショニングの仕方」  講師　 株式会社こころ　代表取締役　矢野ゆかり　氏  参加　　34名  ●日時 　 平成29年11月16日（木）  会場　 松江市城西公民館  内容　「介護職向け口腔ケア研修会」  講師　 松江市医師会  参加　　15名 |

**③居宅介護支援専門員内部研修**

社協内居宅介護支援事業所の情報共有及び資質向上を図るため全体研修を実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 居宅介護支援専門員内部研修  【第1回】 | ●日時　平成29年7月25日（火）  会場　松江市総合福祉センター　2階　視聴覚室  内容　在宅マッサージについて  講師　フレアス在宅マッサージ松江  参加人数　介護支援専門員　10人 |
| 居宅介護支援専門員内部研修  【第2回】 | ●日時　平成30年2月19日（月）  会場　松江市総合福祉センター　3階　婦人研修室  内容　明日から役立つポジショニング  講師　福祉用具販売　株式会社ケープ　フィットアップ　パラマウントケアサービス  参加人数　介護支援専門員　10人 |

**④その他介護職員関係研修への参加**

介護職員は、サービスの質や技術の向上のため、多くの研修を受けることが求められてお

り、下記の研修に参加しました。

・障がい者ホームヘルパーフォローアップ研修　・同行援護従業者養成研修

・訪問介護サービス提供責任者研修　・介護技術研修会

・認知症介護実践研修　・松江市ケアマネジャー研修

　　・包括支援センター公開講座　・認知行動療法ワークショップ

　　・介護職のための薬の知識

**6-(6) 介護認定訪問調査事業の受託**

【総務課】

平成29年度より島根県より事務受託法人として指定を受け、介護保険法に基づく要介護認定

のための新規・更新・変更申請者に対する訪問調査事業を松江市より受託し、介護支援専門員の資格を持つ職員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆介護認定訪問調査事業体制

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 正規 | 嘱託 | パート |
| **H29年度** | **3人** | **15人** | **5人** |
| H28年度 | 3人 | 11人 | 5人 |
| H27年度 | 4人 | 11人 | 3人 |

◆調査件数　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（件）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 在宅 | 施設 | 合計 |
| **H29年度** | **7,013** | **4,519** | **11,532** |
| H28年度 | 5,331 | 3,381 | 8,712 |
| H27年度 | 5,294 | 3,186 | 8,480 |

○認定調査員調査内容の精度を上げるなど資質の向上を目的に、下記の研修を行いました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 【第1回】  【第2回】  【第3回】 | ●日時　平成29年7月7日（金）  内容　「認定調査について」  講師　奥住　浩代　氏  参加者数　22人  ●日時　平成29年12月15日（金）  内容　松江市の調査項目の傾向について  　　　事例検討  参加人数　19人  ●日時　平成30年2月7日（水）  内容　「高齢者の病状について」  　　　 講師　小松　和久　氏  参加人数　22人 |

そのほか、調査資料がどのように審議されているのかを知り適正な調査の作成に役立てるた

め介護認定審査会の見学、審査委員研修会への参加や社協内での内部研修を行いました。

○松江市に在住する被保険者で、保険者が松江市外の方について(住所地特例など)は市内居宅介護支援事業所が訪問調査業務を受けない現状があり、他市町村から調査を受託し、調査員が要介護者宅や施設を訪問し認定に必要な項目の聞き取り調査を行いました。

◆他市町村から調査を受託件数

|  |  |
| --- | --- |
| 年度 | 件数 |
| H29年度 | **5** |
| H28年度 | 22 |
| H27年度 | 36 |

**７．障害者総合支援法等障がい者関連事業の推進**

障害者総合支援法に基づき、障がいのある方の自己決定を尊重し、自立した生活を営むことができるよう、本会で運営する4つの介護センターで居宅介護サービスを提供し、在宅生活での支援を行いました。

　また、3つの介護センターにおいて視覚障がい者の外出援助として同行援護サービスを実施し1つの介護センターにおいてその他の障がいがある方の移動支援サービスを実施しました。

**7-(1) 障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業**

**①松江社協障がい者居宅介護事業及び同行援護事業**

【総務課：松北事業所】

ア）障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 16人 |
| ヘルパー従事者数 | 11人 |

◆業務実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働  ヘルパー数 | サービス提供  時間 | 平均利用時間 |
| H29年度 | **1,640回** | **10人** | **11人** | **1,473時間15分** | **54分** |
| H28年度 | 1,428回 | 11人 | 12人 | 1,385時間30分 | 58分 |
| H27年度 | 1,868回 | 12人 | 13人 | 1,894時間55分 | 1時間00分 |

イ）障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 3人 |
| ヘルパー従事者数 | 12人 |

◆業務実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働  ヘルパー数 | サービス提供  時間 | 平均利用時間 |
| H29年度 | **24回** | **5人** | **12人** | **72時間30分** | **3時間1分** |
| H28年度 | 22回 | 5人 | 13人 | 76時間30分 | 3時間29分 |
| H27年度 | 26回 | 2人 | 13人 | 92時間30分 | 3時間33分 |

**②美保関障がい者居宅介護事業及び同行援護事業**

【総務課：松東事業所】

ア）障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 12人 |
| ヘルパー従事者数 | 10人 |

◆契約実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働  ヘルパー数 | サービス提供  時間 | 平均利用時間 |
| H29年度 | **1,315回** | **15人** | **10人** | **1,097時間00分** | **50分** |
| H28年度 | 601回 | 13人 | 9人 | 691時間30分 | １時間09分 |
| H27年度 | 634回 | 10人 | 9人 | 665時間30分 | １時間02分 |

イ）障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 2人 |
| ヘルパー従事者数 | 10人 |

◆業務実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働  ヘルパー数 | サービス提供  時間 | 平均利用時間 |
| H29年度 | **38回** | **2人** | **10人** | **73時間30分** | **１時間56分** |
| H28年度 | 42回 | 2人 | 9人 | 72時間00分 | １時間42分 |
| H27年度 | 48回 | 1人 | 9人 | 64時間30分 | １時間20分 |

**③松南障がい者居宅介護事業、同行援護事業及び移動支援事業**

【総務課：松南事業所】

ア）障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 6人 |
| ヘルパー従事者数 | 8人 |

◆契約実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働  ヘルパー数 | サービス提供  時間 | 平均利用時間 |
| H29年度 | **388回** | **7人** | **8人** | **392時間00分** | **１時間01分** |
| H28年度 | 539回 | 6人 | 7人 | 497時間25分 | 55分 |
| H27年度 | 605回 | 7人 | 6人 | 537時間30分 | 53分 |

イ）障害者自立支援法に基づき視覚障がい者への同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定を受け、重度視覚障がい者の外出支援を行い地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。またその他の障がい者の外出支援について松江市地域生活支援事業の事業所指定を受け移動支援事業を行いました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 2人 |
| ヘルパー従事者数 | 8人 |

◆業務実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働  ヘルパー数 | サービス提供  時間 | 平均利用時間 |
| H29年度 | **44回** | **2人** | **8人** | **50時間30分** | **1時間09分** |
| H28年度 | 52回 | 2人 | 8人 | 66時間30分 | 1時間17分 |
| H27年度 | 89回 | 2人 | 8人 | 119時間09分 | 1時間22分 |

**④宍道障がい者居宅介護事業**

【総務課：湖南事業所】

ア）障害者自立支援法に基づき障がい者への居宅介護を取り扱う居宅介護事業所の指定を受け、障がい者の日常生活の利便性向上と地域社会との交流、社会参加の促進を図りました。

◆契約実績

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 契約数 |
| 利用契約締結者数 | 7人 |
| ヘルパー従事者数 | 13人 |

◆契約実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 派遣回数 | 実利用者数 | 実働  ヘルパー数 | サービス提供  時間 | 平均利用時間 |
| H29年度 | **826回** | **7人** | **13人** | **940時間00分** | **1時間08分** |
| H28年度 | 1,034回 | 8人 | 13人 | 1,035時間30分 | 60分 |
| H27年度 | 1,348回 | 10人 | 13人 | 1,266時間15分 | 56分 |

＊同行援護を取り扱う同行援護事業所の指定及び松江市地域生活支援事業の事業所指定を受けていない。

**８．児童福祉サービスの推進**

**8-(1) 児童センター等の受託運営**

【松南事業所】

**①八雲児童センター運営事業**

0歳から18歳までの子どもとその家族がいつでも来館でき、自由に楽しむことができる施設として、児童センター「どんぐり館」の運営を、市からの指定管理者として行いました。

◆利用実績　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　延べ人数

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 0～6歳 | 小学生 | 中高生 | 大人 | 合計 |
| H29年度 | 3,209人 | 1,401人 | 21人 | 5,248人 | 9,879人 |
| H28年度 | 1,316人 | 1,655人 | 13人 | 3,373人 | 6,357人 |
| H27年度 | 1,558人 | 1,995人 | 10人 | 2,755人 | 6,318人 |

他の施設等との連携で年間をとおして多様な事業を行いました。

　▼毎月1回　　　絵本とあそうぼう会、ファミリーサークル、

わいわいサロン（市民生活課との共催）、布のおもちゃ作り

　　▼年1回～2回　どんぐり館まつり、表現ワークショップ、わらリズム、音楽コンサート、

お月見会、陶芸体験、食育講座、リフレッシュ体操、人形劇鑑賞、幼児

救急法等

**②八雲児童・子育て事業**

子育て中の親が抱える子育て不安を軽減するために、在宅の親とその子どもを対象に、地域での多様な活動を通じて子育てを楽しみ、仲間作りを行うことを目的として、子育てサロン「星キラくらぶ」を実施しました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 子育てサロン  「星キラくらぶ」 | ●回数　46回  会場　児童センター、秋桑すこやか会館、八雲公民館  　　　 やくものお家  参加者数　804人(親子) |

子育てサロンの活動を支える若いお母さんたちのグループ「星キラママ」は、就労される母親が増えたり、幼稚園児の減少も影響したため、地域の高齢者の方にも参加を呼びかけました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 子育てサロン  「星キラママ」 | ●回数　19回  会場　児童センター  内容　陶芸、豆腐作り、コンサート等  参加者数　258人（地域の高齢者の方々を含む） |

**8-(2) 子ども食堂の取り組み**

【地域福祉課】

経済的な問題や孤食の問題の解消だけでなく、家族以外の地域の人との交流や「食事の場面」を通じて子どもの人格形成に必要な知識や体験を学ぶ場、気軽に安心して立ち寄れる居場所として「まつえこども食堂さいか店」を実施しました。また、こども食堂が住民主体の活動として必要な地域に広がるよう取り組みました。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内容 |
| まつえこども食堂さいか店 | 回　数　10回（平成29年6月より平成30年3月まで月1回実施）  時　間　16:00～20:00  会　場　洞光寺会館（松江市新町）  食　事　カレーライスをメインに提供  利用者　実利用者：こども31人、大人・保護者17人  　　　　延べ利用者：こども75人、大人・保護者26人、ボランティア70人 |

**９．福祉施設等管理運営事業の受託**

**9-(1) 松江市総合福祉センター管理運営事業**

【総務課】

市からの指定管理者として管理運営を行い、市民の福祉活動の拠点、として多数の利用がありました。しかし、入浴施設を平成28年10月より休業し、本年度廃止が決定された為、利用者は減員しました。

◆開館実績：平成28年度360日9:00～21:00（日曜9:00～17:00、祝日9:00～18:00)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 施設利用人員 | 浴室利用人員 |
| H29年度 | 59,686人 | 0人 |
| H28年度 | 56,816人 | 19,576人 |
| H27年度 | 60,906人 | 37,326人 |

**9-(2) 宍道屋内ゲートボール場管理運営事業**

【総務課:湖南事業所】

屋内ゲートボール場「すぱーく宍道」は、地域の皆様の交流の場、生涯スポーツの拠点として、練習はもとより各種大会や体協支部の交流の場として多数の利用がありました。

◆利用実績

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 利用件数 | 時間数 | 利用人員（延べ） |
| H29年度 | **186件** | **686時間** | **3,229人** |
| H27年度 | 209件 | 1,020時間 | 3,316人 |
| H26年度 | 230件 | 1,071時間 | 4,003人 |

**9-(3) 東出雲老人福祉センター管理運営事業**

【東出雲支所】

市からの指定管理者として管理運営を行い、老人福祉活動の拠点として、また集会室等憩いの場として利用がありました。入浴施設については、機器の故障等により復旧の見込みがたたず営業を休止している為利用がありませんでした。

◆老人福祉センター利用実績

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 施設利用人員 | 浴室利用人員 |
| H29年度 | **3,603人** | **0人** |
| H28年度 | 4,054人 | 3,439人 |
| H27年度 | 4,287人 | 4,064人 |

**9-(4) 美保関高齢者生活福祉センター(香梅の里)管理運営事業**

【松東事業所】

市からの指定管理者として管理運営を行い、世代間交流など町民の福祉活動の拠点として利用がありました。

◆主な活動事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事業名 | 年間回数 | 備　考 |
| せんだんカフェ開催 | 8回 | 地元ボランティア活動 |
| 美保関地区高齢者クラブ会議 | 4回 |  |
| 美保関中学校２年生福祉体験学習 | １回 | 6/22～6/23 |
| 敬老会ボランティア受け入れ | 1回 | 9/13～9/15 |

**9-(5) 西ふれあいプラザ管理運営事業**

【松東事業所】

西ふれあいプラザを会場に健康からだ元気塾・いきいき体操教室の開催、ボランティア団体による福祉交流の場としてカフェを開催するなど、地域の皆様の交流の場、福祉活動の拠点として利用がありました。

◆主な活動事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目 | 調理室利用者数 | 和室利用者数 | 集会室利用者数 | 合計 |
| H29年度 | 76人 | 0人 | 944人 | 1,020人 |
| H28年度 | 69人 | 0人 | 797人 | 866人 |
| H27年度 | 70人 | 0人 | 615人 | 685人 |

**10．「我が事・丸ごと」の地域づくり推進**

**10-(1) 地域力強化推進事業**

【地域福祉課】

　住民の身近な圏域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決を試みることができる体制を構築することを支援する為、他人事を「我が事」に変えていくよう働きかけや、地域住民の担い手を創出していく取組みを行いました。

**①高台団地ローラー作戦**

竹矢地区にある富士見ヶ丘住宅において、全戸を対象としたアンケート調査を実施しました。この調査は、自治会及び民生児童委員の協力により行われました。アンケート調査の結果については、「Keep living in 富士見ヶ丘」としてまとめたものを住民に配布したほか、地域の課題については引き続き住民とともに取り組みを検討していくこととしています。

◆調査世帯数

|  |  |
| --- | --- |
| 116/128世帯 | 意向調査の回答有 |
| 29/116世帯 | 訪問拒否 |
| 87/116世帯 | 訪問受入れ |
| 78/87世帯 | 有効回答 |

◆訪問調査の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日　時 | 訪問世帯数 | スタッフ人数 |
| 9月28日  15時～17時 | 22世帯 | 8名（地域福祉課、地域包括ケア推進課） |
| 9月28日  15時～17時 | 35世帯 | 9名（地域福祉課、地域包括ケア推進課） |
| 10月8日  10時～12時 | 24世帯 | 16名（地域福祉課、地域包括ケア推進課、総務課） |
| 10月8日  10時～11時 | １世帯 | 1名（地域包括ケア推進課） |
| 10月16日  16時～17時 | 5世帯 | 5人（地域福祉課、地域包括ケア推進課） |

**②参加型買物支援と介護予防の取り組み**

　近隣に店舗がないなど、買物が困難な状況を改善する取り組みとして、なごやか寄り合いの会場を拠点に介護予防体操の指導と移動販売をセットにした取り組みを進めました。

地域に周知し、宍道公民館（宍道）、下倉地区（宍道）、布志名（玉湯）にて開催をしたほか、全市への展開をするために福祉推進員代表者会において紹介を行いました。

◆実施内容

|  |  |
| --- | --- |
| 実施事業所 | 株式会社　さんびる |
| 市社協の支援 | ①　移動販売車の燃料費相当額の１/２を負担  ②　健康体操インストラクター費用6,000円を負担 |

**③巡回相談の実施**

　大庭地区社協が取り組む「巡回お悩み相談教室」により、地域における相談拠点の設置に取り組みました。「巡回お悩み相談教室」は地域福祉課のほか、地域包括支援センター、行政保健師とともに相談対応に当たりました。

このような取組は地域に埋没しがちな困りごとを支援につなげるための重要な取組であるとともに、地域住民との協働による課題解決を進めるための仕掛けにもなっています。

　住民自身が自らの地域課題を共有し、解決に向けた取り組みを進めていくことができるよう、自治会や民生児童委員、福祉推進員とともに支援のネットワークを構築しました。

◆お悩み巡回相談室実績

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 1回目 | 2回目 | 合計 | 備考 |
| Ｈ29年度 | 0 | 8 | 8 | 1回目：茶臼山団地集会所  2回目：井出平住宅 |

◆お悩み巡回相談室相談内容

|  |  |
| --- | --- |
| 相談内容 | 件数 |
| 自身・家族の健康医療面 | 6 |
| 健康的なこと | 1 |
| 家族の介護のこと | 6 |
| 介護保険・福祉サービスのこと | 6 |
| 住まいのこと | 1 |
| 日常的な生活面での困りごと | 1 |
| その他 | 3 |
| 合計 | 24 |

**④なんでもサポーター**

ゆうあいヘルプサービスの利用対象者を、従来の「高齢者」「障がい者」を拡大し、支援が必要な方に広く利用していただけるように改正をしました。

　また利用料金を従来は1時間単位としていましたが、これを30分単位に改めることで、安価で利用しやすいサービス体系としました。

**⑤　共生・響生のまちづくりシンポジウム**

地域を舞台に取り組まれている協働の活動を紹介し、その活動発表を通じてその価値に気付き、共生社会実現の機運を高めることを目的に開催した。

◆全体研修会の開催

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名等 | 内　容 |
| 講演  シンポジウム | ●日時　平成30年3月3日（土）13：00～15:30  会場　島根県民会館大ホール  講演　「我が事・丸ごと」の地域づくり  同志社大学社会学部　准教授　永田　　祐　氏  活動報告  　　　「農福連携による活動支援」  　　　　　　　　　　　　 すまいりーねっと　代表　後藤　幸江　氏  　　　「住民アンケートから見えてきたこと」  　　　　　　　　　　　 富士見ヶ丘住宅自治会会長　中谷　順一　氏  　　　　 富士見ヶ丘住宅民生児童委員　柳光　忠士　氏  　　　　 松南第2地域包括支援センター 星野　幸代　氏  　　　「社会福祉法人による地域公益活動」  　　　　　　　 社会福祉法人みずうみ公益事業部長　岩本　千代　氏  　　　　　　 社会福祉法人みずうみ公益事業副部長　堀田　　聡　氏  参加者　約400人 |

**10-(2) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業**

【生活支援課】

　総合的な相談支援体制を構築するため、相談機関が横断的かつ統合的に協働し、さらに外部機関と連携することで包括的な支援体制の構築を目指す取組みを行いました。

**①松江市社会福祉協議会職員の全てが相談を受けとめる体制づくり**

ア）ふくしなんでも相談マニュアルの作成

○相談業務以外の職員が対応できるマニュアルの作成をしました。

イ）職員研修

○相談業務未経験職員へふくし相談マニュアルを使い相談業務の基礎的な研修を行い、段階的にレベルアップを図る為計5回の研修を行いました。

◆ステップアップ研修

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研修名 | 内容 | 日時 |
| ステップ１ | 対象者ごとの知識とサービス | 6月22日・6月23日 |
| ステップ２ | 相談のいろは（相談マニュアルを中心に） | 6月21日・6月26日 |
| ステップ３ | 緊急性の判断 | 8月31日・9月1日 |
| ステップ４ | 面接技法　コミュニケーションの取り方 | 10月19日・10月20日 |
| ステップ５ | 自分の対応を振り返る　プロセスレコードを活用して | 1月24日 |

ウ）ふくしなんでも相談所の開設

○ふくしなんでも相談電話を設置しました。

○社協内１４カ所にふくしなんでも相談所を開設しました

　エ）相談管理システムの導入

　　○受付した相談を管理するため社協内で書式を統一したシステムを導入しました。

**②受け付けた相談を受けとめ、解決に向けた体制づくり**

相談者の困りごとをしっかりと受け止め、解決に結びつくことができるよう、市社協として相談の流れを整理しました。また、市社協内で受けた相談の支援体制を整備しました。

ア）相談の解決に向けた整理

１時相談・・・ふくしなんでも相談電話、ふくしなんでも相談所で受け付けた相談

２次相談・・・市社協内の相談機関、各課で対応したケース

３次相談・・・外部機関へつないだケース

|  |  |
| --- | --- |
| １次相談 | 190件 |
| ２次相談 | 86件 |
| ３次相談 | 51件 |

イ）相談支援体制の整備

○ケースの進捗管理

　総合相談調整室でのケースの把握と管理を行い、毎月２０日にＣＳＷ、包括の班長が集まりケースの共有を行う実務者会を開催しました。

○解決が困難なケースへの対応

　市社協内での連携が必要なケースについて、市社協内各課参加による対策会議を開催し、外部の専門的な助言が必要なケースについて困難事例検討会を開催しました。また、専門職、地域住民参加による地域ケア会議を開催しました。

**③関係機関との連携**

　　松江市との連携強化を図る為、市・市社協合同会議を２回開催しました。また、関係機関との連携を図るため、地域、司法、就労・若者支援、児童福祉・教育、更生保護、保健、障がい者福祉、人権、福祉・ボランティア活動・市民相談、高齢者福祉の参加による包括化推進会議を２回開催しました。また、法テラス島根、島根県弁護士会と連携したなんでも相談会を２回開催し、18名の相談がありました。

**④周知啓発**

　　事業周知を図るため各種研修会等でのチラシの広報のほか、１１月から３月までケーブルテレビでのＣＭ放送、市営バス車内での電子看板による広報を行いました。

**⑤新たな地域の社会資源サービスの創出**

　　既存の制度やサービスで対応できない相談に対応するため新たな社会資源サービスの創出に取り組みました。

|  |  |
| --- | --- |
| 地区相談員の養成 | １０３人 |
| なんでもサポーターの養成 | ６１人 |

**11．災害支援**

**11-(1) 九州北部豪雨災害の支援派遣**（第３回理事会、第２回評議員会で報告）

【総務課】

[2017年](http://dic.nicovideo.jp/a/2016%E5%B9%B4)（[平成29年](http://dic.nicovideo.jp/a/%E5%B9%B3%E6%88%9028%E5%B9%B4)）7月5日から6日にかけて、福岡県と大分県を中心に発生した集中豪雨「九州北部豪雨災害」において、福岡県朝倉市の災害ボランティアセンターへ運営支援に職員3名（岩本、宮廻、広野）を派遣した。

◆朝倉市社協への派遣内容

○支援内容（マッチング班）等

①前日　松江市を9:00頃出発　→　松江道～中国道～九州道　→　朝倉市16:00頃到着

　　到着後、朝倉市災害ボランティアセンター下見等

②1日目　岡山市社協からの引き継ぎ後、マッチングしボランティアの送り出しを行う。午後からニーズ班に同行し、多々連地区のローラー調査実施。

③2日目　マッチングしボランティアの送り出しを行う。その後、現場への資材運搬やゴミの仕分けに現場で活動。

④3日目　マッチングしボランティアの送り出しを行う。その後、現場で（ゴミの仕分け、収集場所へごみ搬送）活動。

　⑤4日目　マッチングしボランティアの送り出しを行う。その後、現場で（家屋の泥だし、ニーズ調査同行）活動。

　⑥5日目　マッチングしボランティアの送り出しを行う。その後、資材班や水分補給班のサポート。13：00～14：30　広島県社協へマッチングの引き継ぎを行い。支援終了。

**平成30年4月１日付け正規職員採用の方針について**

**１.概　　要**

**（1）採用予定数**　2名程度

**（2）資格要件**

・学　歴　　問わない

・年　齢　　昭和53年4月2日以降に生まれた者

・資　格　　次の各号のいずれかに該当する者

①保健師免許を有する者

(平成30年3月31日までに免許取得見込みの者を含む)

②社会福祉士資格を有する者

(平成30年3月31日までに資格取得見込みの者を含む）

③介護支援専門員の資格を有する者（実務経験を有する者）

・その他　　上記の資格のない者で次の各号のいずれかに該当する者

　　　　　　 ①上記の資格は有していないが、福祉に対する強い情熱がある者

　　　　　　 ②福祉の勤務経験はないが、福祉に対する熱き心がある者

　　　　　　　(①及び②については、採用後10年以内には何らかの福祉資格を取得)

**（3）試験内容**

①１次試験（性格能力検査、面接試験）

日　時　平成29年11月25日(土)11:30～17:00及び26日(日)9:00～17:00

会　場　松江市北陵町1番地　テクノアークしまね4F大会議室(25日会場)

松江市千鳥町70番地　松江市総合福祉センター1F会議室(26日会場)

※試験問題作成及び採点は株式会社リクルートキャリアに委託

　　　ア.性格能力検査

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 試験名 | 検査内容 | 出題数 | 時間 | 費用 |
| 性格検査 | 仕事をする上での人柄・職務への適応性・組織への適応性の検査 | 約300問 | 30～40分 | 4,500円～  5,000円 |
| 能力検査 | どのような仕事にも共通して求められる基礎的な能力を測定検査 | 約40～97問 | 35～70分 |

　　　イ.面接試験

１次面接(管理職面接)

・集団面接　1グループ(6人～7人程度)　15分～20分程度

・個別面接 一人　10分～15分程度

※面接審査員　　目次常務理事、諏訪課長、豊島課長、湯浅課長、安藤課長

※試験日の翌日に、上記審査員による判定会議を行う

※１次試験において10名程度に絞り込み、２次試験へ進む

※１次試験多数の場合は集団面接のみとする

②２次試験（役員面接）

日　時：平成29年12月10日(日)を予定

会　場：松江市総合福祉センター1F会議室

・役員面接試験　1人　15分程度

　※面接審査員　石原副会長、長岡副会長、黒田専務、西村理事(市)、野々内理事(女性)

　※試験日の概ね２日以内に、上記審査員による判定会議を行い、採用者を決定する。

松江市社会福祉協議会　職員数

平成30年3月31日

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 所属 | | 正規  職員 | 継続雇用  職員 | 嘱託  職員 | 臨時  職員 | パート  職員 | 計 |
| 専務理事 | | １ |  |  |  |  | １ |
| 事務局長 | | １ |  |  |  |  | １ |
| 総務課 | 課長 | １ |  |  |  |  | １ |
| 総務係 | ４ |  | ２ |  | ４ | １０ |
| 経営企画係 | ２ | １ | ２ |  | １ | ６ |
| 松北事業所（松江社協介護センター）駐在含 | ２ |  | ５ |  | ８ | １５ |
| 松東事業所（美保関介護センター）駐在含 | ３ |  | ９ | ９ | １１ | ３２ |
| 松南事業所（松南介護センター） |  |  | ６ |  | ７ | １３ |
| 湖南事業所（宍道介護センター） |  |  | ６ | 1 | １４ | ２１ |
| 八雲児童センター |  |  | ２ |  | ４ | ６ |
| 介護認定調査 | ３ |  | １７ |  | ７ | ２７ |
| 地域福祉課 | 課長 | １ |  |  |  |  | １ |
| 地域福祉係 | ８ |  |  |  |  | ８ |
| ボランティアセンター | ２ |  | ４ |  |  | ６ |
| 生活支援課 | 課長 | １ |  |  |  |  | １ |
| 生活支援係 | ３ |  | １ |  |  | ４ |
| 総合相談調整室 | ４ |  | １０ |  |  | １４ |
| 地域包括ケア推進課 | 課長 | １ |  |  |  |  | １ |
| 地域包括ケア推進係 | １ |  | １ |  |  | ２ |
| 地域包括支援センター | ２５ |  | ２２ |  |  | ４７ |
| 在宅医療・介護連携支援センター | ２ |  | １ |  |  | ３ |
| 東出雲支所 | |  |  | ３ | １ |  | ４ |
| 計 | | ６５ | １ | ９１ | １１ | ５６ | ２２４ |

※正規職員数には市からの派遣職員を含む。